

特230

400

昭和九年度

第二回合理的施肥法實地指導地成績

鳥取縣農會



始



特230
399

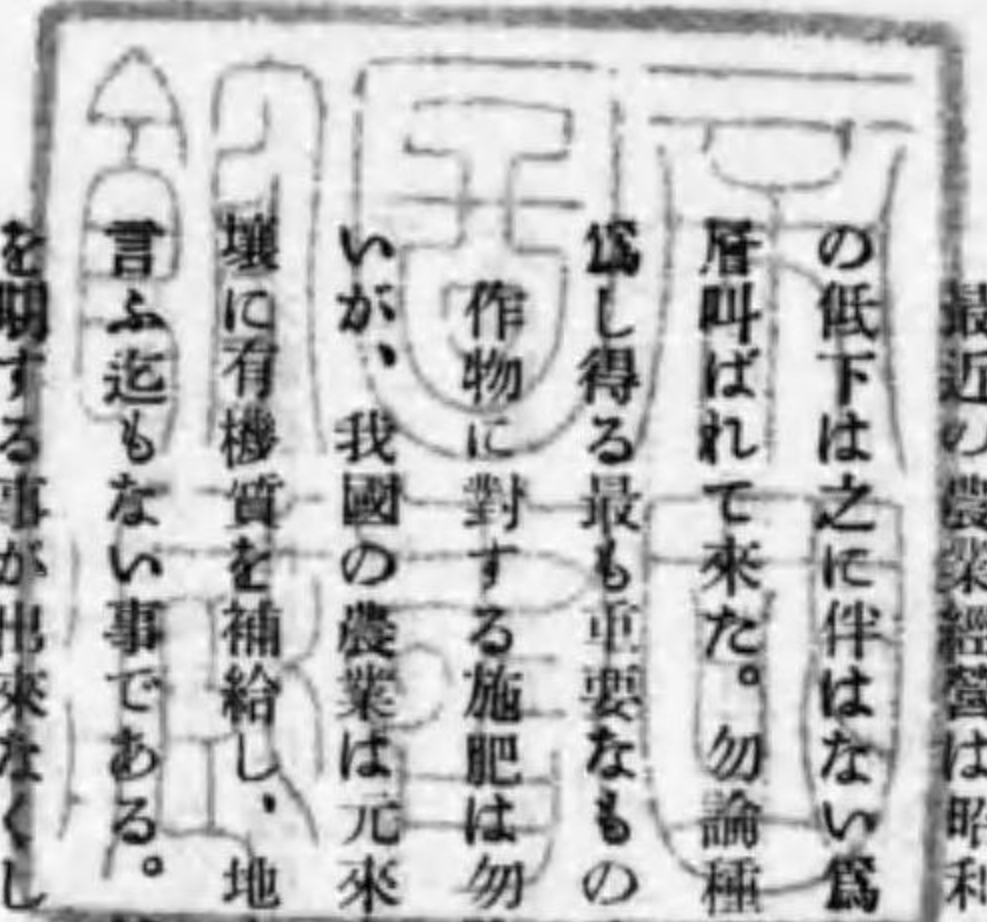
施肥合理化の意義	松浦守 (一)
加里肥料の効果に関する新研究の二三に就て	平松琢雄 (二)
水稻指導地成績一覽表	(三)
指導地の成績(水稻の部)	(四)
各指導地の成績(裏作物の部)	(五)

序

最近の農業經營は昭和五年の農業恐慌以來大なる變遷の趨勢にある。即ち農産物價の激落にも拘らず農業經營費の低下は之に伴はない爲に農家の農業所得の激減は農産物價の下落よりも甚だしく此處に於て合理的農業經營が一層叫ばれて來た。勿論種々な點から綜合的に農業經營の改善を圖らねばならないが、生産技術の中で農家が直接に爲し得る最も重要なものは作物の施肥であり、施肥方法の合理化と言ふ事が最も大きな問題の一つである。

作物に對する施肥は勿論地方の氣候、土質、前作物等諸種の條件によつて異なるもので一律に論ずる事は出來ないが、我國の農業は元來自給自足を基礎とするもので施肥に於ても自給肥料を根幹としなければならぬ事は、土壌に有機質を補給し、地力の維持増進上技術的の見地から重要であると共に農業經營上肥料費の節約の點から今更言ふ迄もない事である。然し乍ら古くから農業指導者が口を極めて強調した購入肥料の節約或は肥料の自給は徹底を期する事が出來なくして過去數年を過ぎ去つたが、漸く農林省及び各府縣の自給肥料の必要の強調と、當業者の自覺とにより最近になり其消費額著しく増加し、昭和八年に於て全國で約六千二百萬噸に達し、昭和三年より七年迄の五ヶ年平均の六千萬噸に比べると約二百萬噸の増加となり、肥料代の經濟上又肥料の合理的施用上から洵に慶賀すべきことである。

尙本縣の自給肥料の消費状態を見ると平均反當三圓十錢、一戸當二平七圓二十錢と言ふ状態で全國平均の反當四圓九十七錢、一戸當五十二圓八十錢に比し未だ著しく貧弱である事が窺はれる。尤も山間部に於ては給源も豊富である爲に相當に生産消費されて居るが、地方によつては全然販賣肥料のみを使用して甚だしく土質を惡變さして居



る所も少くない。

斯様に自給肥料は作物の栽培上絶對的に必要であるけれども、一面其効果を一層發揮させる上に於て、又植物榮養分を作物に適當なる割合に與へる爲には決して自給肥料丈では満足出来ぬ。此處に必ず適當な金肥の補給と謂ふ事を忘れてはならない。乃ち金肥の合理的併用により自給肥料の不足を補ひ、作物の收量を増し併せて品質を向上するのである。

元より農家の中には早くから肥料の問題を自覺して自分の耕地に應じた肥料設計をたて、研究してゐる人もあるが農業者全體から見ると之等は極めて少數の人々で、未だ一般農家の中には肥料知識の乏しい人の多い事は洵に遺憾とする所である。

系統農會に於ては施肥方法の改善を圖る爲に水稻及其裏作物につき、合理的施肥實地指導地を設置し、本縣に於ても二十ヶ所の指導地を設け、各地に土質、前作物等を考慮して最も適當と思はれる肥料設計をたて指導をかし、此處に昭和九年度の成績を纏めて公にする事を得た。今水稻成績を見ると平均反當玄米收量二石五斗七升二合にして、隣接地の二石三斗五升七合に比し二斗一升五合、當該町村平均の二石一升二合より五斗六升何れも増收となつて居り、而して肥料代其他を差引きたる反當平均收入は六十八圓七十二錢にして隣接地の五十八圓八十七錢に比し九圓八十五錢當該町村平均の五十一圓七十錢より十七圓二錢の利益を見てゐる。基より本成績は縣下に於て僅かに二十ヶ所の指導地に於て得たる結果であるが、農家諸君の施肥改善上多少にても参考となれば幸甚である。

昭和十年十二月

鳥取縣農會農業經營部

施肥合理化の意義

鳥取縣立農事試驗場

地方農林技手

松

浦

守

農業經營上肥料の重要性は、今更ら申す迄もないが、今帝國農會調査に依る昭和八年の米生産費の内容を見るに、米一石を生産するに要する費用はまず直接生産費（種子代、肥料費、諸材料費、勞賃、畜力費）十三圓五十錢、間接生産費（土地改良費、農具費、農舎費、公課土地資本利子）十一圓九十二錢合計二十四圓九十七錢であるが此の内購入肥料費は二圓十一錢である、之等の内實際の現金支出と見らるゝものは、雇入費、材料費、畜力費、土地改良費、農具費、農舎費公課購入肥料費で八圓七十九錢である、故に現金支出に對する肥料費は二割四分に相當して居る、之れを以て見れば如何に農業經營上肥料の重要なかを明瞭に物語るものであつて、今日の農業恐慌の一因又茲に有ると云つて決して過言でないと思ふ。

肥料經濟の良否とは、如何なる事であるかと云に、まず第一に優良適切なる肥料を安價に購入する事である。近時自給肥料の増産、奨励による其の使用増加は、金肥節減に至り漸次當業者の肥料經濟の緩和を見るに至つたが、本邦の集約農業的立場からして、ある程度までは金肥の使用は止むを得ざる事當業である。最近の一般產業界の傾向として、いはゆる在來の放任經濟から統制經濟に進化轉換しつゝある今日、此れを我々肥料界に於ける實例を見ても消費者對生産者に於ける大なる對立は、一方生産業者の營利統制運動の強化所謂販賣價格の協定とか、或は生産制限による從來の餘剩利益の保

特とかに苦心してゐる事は、事實であると思ふ。これは一つの今日の經濟機構の發展して行く必然的な過程であつて止むを得ない事である。斯くの如く生産業者は今後益々其の體制内容は整理し充實して行くものと見なければならぬ。是等に對し消費者一般の立場からしても、農家一般經濟、農産物の價值等と對比して眞に合理的な品質の肥料を得ようとするならば、必ずや消費者間に於ける、所謂團體運動の結成が必要であつて、即現在發達しつつある産業組合並びに各種農事實行組合に依る統制運動である、此れは國家の強力な威力と意志とに依つてその目的を遂行する事が出来るものである。現に國家的助成のもとに此の事業の任に當つて努力して居る、即ち農家の共同機關たる全購聯は、昭和八年以來肥料統制五ヶ年計畫を樹立し、五ヶ年後には農家主要購入肥料約三二〇萬噸の二分の一即ち一六〇萬噸の統制を目標とし着々と其の理想に接近しつつある。

斯くの如く消費者間に於ても是等生産者の強力なカルテル、シンヂケートに對する對立の基礎を造り肥料統制機關による安全肥料の購入の實現の進歩を見つゝあるは非常に喜ぶべき事實である、是等肥料統制問題に就いては茲に省略する。斯の如く一方各種産業團體に依る肥料統制の實現に併行して實際農家の意圖とすべき事は、施肥の合理化である。此の問題に就きて少しく詳細に述べて見よう。

抑々施肥の合理化とは、如何なる事かと申せば、即ち一口に云へば自給肥料増産を第一位とし優良安價なる肥料を作物土地に對して、最も肥効を適切有効ならしめる様に施用する事である。

今日、實際農家の施肥状況を巡察するに未だ徒らに舊來の習慣にとらはれ、至つて幼稚なる現状にあるは非常に憂ふべき現象である。斯くの如き状態では如何に安價優良なる肥料の供給を仰ぐとも、これを施用するに際して合理的ならずんば、眞の肥料の合理化の目的は達成し得たとは言ひ得ない、茲に合理的施肥法の必要なる所以がある。

農作物に對する施肥法の良否は、殆んど各作物同様に、必要であるけれども特に、水稻に於ては其の必要を痛感するも

のである、しかしして一度其の施肥法を誤らんか、豫期の收量を得る事能はず、而も往々にして無肥料にも劣る減收を目標とする事が尠くない。

元來土地は千差萬別な性状をなし、複雑多岐である、故に是れが肥培方法も千差萬別にして一律に斷定する事は出来得ない、従つて合理的施肥法を攻究せんとせば其の土地の性状を理解する必要がある。

本縣下に於ける主要耕地土壤を地質的由來からして大體花崗岩の風化する土壤、古生層土壤第三紀層土壤、第四紀古層土壤（洪積層土壤）、第四紀新層土壤（沖積層土壤）土壤の五熊別にする事が出来る、而して花崗岩の風化する土壤は日野郡の大部分、西伯郡の奥部、東伯郡、八頭郡の山間部に存在す、古生層土壤は八頭郡に多きも本縣の全耕地より見ればわずかな存在である、第三紀層土壤はわずかにして、岩美郡の津ノ井村、西伯郡尚徳村を中心として存在す、第四紀古層（洪積層土壤）土壤は東伯郡、西伯郡、日野郡に渡る一帯の丘陵地帯を占領す、第四紀新層土壤（沖積層）は本縣三大河川即ち千代川、日野川、天神川に沿へる耕地を占め本縣の主要耕地の大部分はこれに屬するものである。

次に之等の土壤を土性別に考察して見ると、花崗岩土壤は、砂質壤土及壤土で石英砂及雲母片を含み其の理學的性質は比較的良好である、次に古成層土壤であるが此れは埴土及埴壤土のもの多く有機物質に富み地味は肥沃である。

第三紀層土壤は錯雑してゐて一律にし難いが一般埴壤土及埴土多く理學的性質良好と云ひ難く、第四紀古層土壤（洪積層）は埴壤土及壤土多く、黒色輕鬆なる土壤にして所謂「黒ボコ」と稱する土壤である上部三―四尺を取ると其の下部は粘土の赤褐色の厚層をなし、理學的性質は良好でない。

第四紀新層（沖積層）土壤は砂土より埴壤土に至る各種のものがあり、耕土一般に深く河流附近及下流地方とは砂壤土乃至砂土が多い、理學的性質良好なり。

次に之等の化學的性状を地質土性別に考察して見るに左表の如くである。

地質	土性	吸收系数		水分	風乾	窒素	1/5規定可溶性	腐植質	酸度	
		窒素	磷酸							
		細土	石灰							
沖積層土	砂質壤土	一八〇	四九四	三、五	〇、三九九	〇、〇三〇	〇、〇三三	〇、〇三三	二、三	一三、六
沖積層土	壤土	二二三	五七七	三、九	〇、三八八	〇、〇三九	〇、〇三六	〇、〇三六	二、三	八、八
沖積層土	壤土	二九〇	五三九	四、五	〇、三七五	〇、〇三六	〇、〇三三	〇、〇三三	二、七	一一、二
沖積層土	均土	三六六	六五一	四、一	〇、三四九	〇、〇三七	〇、〇三四	〇、〇三四	二、九	七、九
沖積層土	均土	三六三、九	六三三、九	四、二	〇、三八八	〇、〇三七	〇、〇三五	〇、〇三五	二、〇	一〇、八
沖積層土	均土	三四三	五九四	四、〇	〇、三八二	〇、〇三六	〇、〇三四	〇、〇三四	三、四	一〇、四
洪積層土	砂質壤土	三〇七	五九五	三、一	〇、三九三	〇、〇三五	〇、〇四〇	〇、〇四〇	五、二	五、六
洪積層土	壤土	三三八	一一〇四	五、九	〇、四七二	〇、〇三八	〇、〇三五	〇、〇三〇	五、三	一三、六
洪積層土	壤土	三三七	九五六	五、二	〇、四五七	〇、〇三八	〇、〇一九	〇、〇一九	六、二	四、二
洪積層土	均土	三五四	九七三	四、〇	〇、四二六	〇、〇三八	〇、〇三四	〇、〇三三	二、八	八、六
洪積層土	均土	三五一	九〇七	四、五	〇、四二九	〇、〇四八	〇、〇三三	〇、〇三三	四、八	七、七
第三紀層土	砂質壤土	一	八七七	四、八	〇、四一九	〇、〇七〇	〇、〇六五	〇、〇六五	一、八	一三、四
第三紀層土	砂質壤土	一	七九四	四、七	〇、三六〇	〇、〇五一	〇、〇四八	〇、〇三五	三、二	八、三
第三紀層土	均土	二八九	九〇五	三、五	〇、三九〇	〇、〇七三	〇、〇三四	〇、〇三九	一、八	一三、六
第三紀層土	均土	三三八	一〇三二	三、七	〇、三七四	〇、〇三三	〇、〇三六	〇、〇三九	一、五	一九、九
第三紀層土	均土	三〇二	八三〇	四、一	〇、三四七	〇、〇四四	〇、〇三六	〇、〇三五	二、〇	一三、七

右表に依つて觀察するに窒素並磷酸の吸収力の最も強いものは洪積層土壤にして、之に次ぎ第三紀層土壤、沖積層土壤である土性別に見れば吸収力は砂地より粘質の土壤が強い事が判る、總べての膠狀物質は、物を吸着する性質があるが土壤でも腐植質、粘土、水酸化鐵、水酸化鋁質の様な膠狀質のものはよく肥料を吸着保持するもので、特に腐植質の多量な洪積層土壤に於て見受けらるゝ通りである、此の吸収力は作物栽培上非常重要な關係を有するもので、若し土壤に吸収力が無き場合には、可溶性な養分は雨水のために地下に流されるし、又土壤中の溶液が餘り濃厚過ぎるときは滲透壓の作用により作物の生育に支障を來す故土壤の吸収力はこれを調節する役目をするのである、斯の如き關係があるが故に、土壤の吸収力の強弱によりて肥料の施用法、換言すれば基肥、追肥の分量並回数等を大いに考慮する必要がある、此の吸収率の強弱の標準は大體鈴木重禮氏の表によれば次の如である。

磷酸吸收率

窒素吸收率

- 甚多 一二〇〇以上
- 多し 九五〇―一二〇〇
- 多 七五〇―九五〇
- 稍多 六〇〇―七五〇
- 中庸 四五〇―六〇〇
- 稍少 三〇〇―四五〇
- 甚少 三〇〇以下
- 五〇以下
- 四〇〇以上
- 三五〇―四〇〇
- 二五〇―三五〇
- 一五〇―二五〇
- 一〇〇―一五〇
- 五〇―一〇〇

次に成分含有量を観るに窒素の含有量の最も多きは洪積層土壤にして、之に次ぎ沖積層土壤、第三紀層土壤である、更に之を土性別に見るときは砂土よりも粘質の土壤に多く、次に磷酸含有量を見るに、之は土壤によりて最高最低の差が甚

だ大きい、之の含有量の最も多いものは沖積層土壤にして、之に次ぎ第三紀層土壤、洪積層土壤である、加里の含有量は最も多いものは第三層土壤にして之に次ぎ洪積層土壤、沖積層土壤である。

斯の如き三成分含有状態であるが、此の内窒素は實際作物に吸収せらるゝ量、換言すればアンモニア或るいは硝酸の形態で直接吸収さるゝ量は〇、〇一%—〇、〇二%に過ぎない。

磷酸、加里等も同様であつて、前表に記載せられてある15規定可溶性磷酸、加里とあるは、作物が根毛から分泌する酸性液に依つて、土壤中の諸成分を溶解し之を吸収するものであるから、是と同じ位の濃度の鹽酸即15規定鹽酸で土壤中の可給態の磷酸加里を溶解し之を定量にした量であつて、之を有効磷酸、有効加里と稱し土壤の肥瘠等の決定には極めて重要な参考材料に成るものである。

腐植質の含有量の最も多いものは洪積層土壤で、之に次ぎ沖積層土壤、第三紀層土壤である、此の腐植質は動植物の腐敗分解による中間生成物で暗色、無定形の膠質物で最近膠質化學の進歩と共に盛に研究せられつゝあり其の正體も漸次明瞭にされつゝあるが、此の腐植質はそれ自身分解して窒素成分を作物養料として供給する外土壤中の不可給態の養分を可給態にしアンモニア等の流亡し易い養分を吸収保持する力を有する故地力を維持する上に極めて大切なものである、腐植質の効果としては農業上有用な微生物の繁殖を促進する外、粘質土に之を用ふると粘性を減じ、空氣水の流通をよくし、砂土に混すると砂粒に膠着し養分を保持する様になる、又色が黒いため温熱を吸収する故土温を保ち植物生育に頗る好影響を與へる、然し之が多過となる場合には、所謂黒土と化し土壤は過濕となり、空氣の透過悪く、土温を低下し、且酸性腐植質を生じ作物の生育を害する場合がある、一般本縣の腐植質の分布を見るに洪積層土壤を除く外の土壤は此の腐植質の量が缺乏してゐる故に堆肥の如き有機質肥料を施用する必要がある。

以上が大體本縣の地質土性に就てであるが此等は勿論前述せる如く合理的施肥の基礎的部門内に於ける重要な参考材料の一つであることは言ふ迄もない。

然らば如何にして合理的施肥法を決定するかの問題であるが之の見解を今少し分析して見るならば、畢竟施肥量の決定と肥料の選擇であると思ふ。

先づ第一に、標準施肥量の決定は如何にして定めるか、之は勿論氣候、土質、地力の強弱により一定することは出来ぬが、大體次の條項を参照して之を決定することが出来る。

- 1、作物の收穫量を檢定し、その中に含まれてゐる三要素量を調査し、其の作物が需要する三要素量を算出する。
- 2、肥料要素の天然供給量を査定して1、より引去り施肥量を決定する。
- 3、肥料成分及その吸収率を求め、今施用せんとする肥料中の三要素量と、その各要素が作物に吸収利用される割合を知る事。
- 4、地方在來の慣用施肥量を多數調査し其の平均量を算定しこれを参考とする事。

土壤中に含有する肥料成分の多少、言い換へれば其の土地の肥瘠を知るには、土壤の化學的分析による成績を参考として實際作物を基礎とした三要素試験なるものを行ふ必要がある。

土壤の三要素の天然供給量は其の地方の主なる代表土質毎に之を定める必要がある。本縣に於ても大正十一年度より農事試験場で之を査定してゐる、其の成績指數を大體地質土性別に示せば左表の如くである。

地質系統	地質系統				
	無肥料區	無窒素區	無磷酸區	無加里區	三要素區
沖積層壤土	五二	五五	八七	八七	一〇〇
第三紀層壤土	七三	七六	八一	九〇	一〇〇
花崗岩系砂質壤土	七〇	七七	八八	八九	一〇〇

沖積層海濱部砂質土	五〇	四	八六	八八	一〇〇
大山系腐植土	七二	七八	八八	八四	一〇〇

右表より考察して見るに沖積層土壌に於ては、無窒素區に於ては三要素區に比し、四割五分の減收を表し無磷酸、無加里區に於ては各一割三分の減收状態を來して居る。

第三紀層土壌に於ては、無窒素區に於て二割四分の減收を來し無磷酸區一割九分無加里區、一割の減收を來してゐる。花崗岩系土壌に於ては、無窒素區に於て、二割三分無磷酸區に於て一割二分、無加里區に於て一割一分の減收を來してゐる。

沖積層海濱部砂土に於ては、無窒素區四割六分、無磷酸區一割四分、無加里區一割二分の減收を來し、大山系腐植土に於ては、無窒素區二割二分、無磷酸區一割二分、無加里區一割六分の減收を來たしてゐる。

之等の各指數は大體の平均にして各同一地質系土性によつても其の指數は異なることは勿論である。此の指數は即農作物豫定收量に對する施肥量決定の補給比率に成るものにして主要なる因子となるものである。次に肥料成分の吸収率であるが、肥料の吸収率と云ふは、施した肥料中の有効成分が作物に吸収利用された比率を云ふものであつて、次式によつて表すことが出来る。

$$\text{吸収率} = \frac{\text{收穫物中に吸収された成分量}}{\text{施用した有効成分量}} \times 100$$

右の收穫物中に吸収された成分量は、全收穫物中に存する成分量から無肥料區の收穫物中に存する成分量を差引いて之を定める、今各種肥料の吸収率を表せば左表の如くである。

窒素吸収率

肥料名	水			稻		麥	
	駒場農科大學	西ヶ原農試	鳥取農試	駒場農科大學	西ヶ原農試		
堆肥	五〇.〇	一三.八	四五.〇	—	二〇.八		
人糞	—	六七.八	五〇.五	—	四九.五		
大豆粕	—	六.五	五〇.〇	—	四六.九		
綿實粕	—	—	五五.五	—	—		
菜種油粕	六七.〇	四三.五	五〇.三	—	三三.一		
鍊アパ粕	八〇.〇	六九.〇	四八.〇	—	五三.六		
硫酸アンモニア	六二.〇	六七.〇	五〇.一	四〇.〇	五九.四		
石灰窒素	—	五二.〇	五〇.二	—	—		
智利硝石	—	四三.八	—	—	—		

磷酸吸収率

肥料名	水		稻		麥	
	駒場農科大學	西ヶ原農試	鳥取縣農事試驗場	駒場農科大學	西ヶ原農試	
過磷酸アルミナ	二八.二	—	二七.三	—	二一.五	
磷酸グアノ	—	—	二七.七	—	—	
骨粉	一九.九	—	一八.〇	—	一六.六	
燐礦粉	—	—	二七.三	—	—	
トーマス燐肥	一三.七	—	—	—	一三.七	

之で見ると、窒素肥料は、作物に吸収されるものより徒に流亡するか、或は作物に吸収されずに土中に殘留する様である、然も吾人が多く流亡する様に考へてゐる水田では却つてその流失が少い。

又磷酸に於て見ると、窒素に比し遙かに吸収少く且田畑とも大差がない、斯の如く吸収量の少いのは流亡するためでなく、不溶性の磷酸鹽となるためである。

加里肥料の加里の吸収は十分試験が無いが大體五〇%位吸収せらる事に於ては殊に堆肥は八〇%の多量に吸収せられる。

次に本縣に於ける慣行施肥量の多數調査せる成績を、綜合統一して見るに沖積層土壤地帯に於ては、窒素、磷酸の施用量は一般に多く、ことに磷酸は一般に過用せられてゐる様な状態にあり、之に引換へて加里の施用は非常に少い。

又第三紀層土壤地帯を見るに一般窒素の過用に引換へて、磷酸、加里の施用量は少い。

又花崗岩或は海濱部砂土、土壤、地帯に於ては、一般に磷酸の施用多く加里肥料はとくに忘却されてゐる様な状態である又大山系腐植土地帯に於ては漸次其の施肥量の問題に就き、考慮され特に磷酸の施用量増加に注意し來れ共、一般の現状を調査して見れば尙磷酸加里の施用量に注意する點があると思ふ。

此れ等は勿論三要素の相對的な比較數量として、其の絕對量の過不足を示すものに非ず。

今更申迄もないが元來作物の收量と養分との間にはリーヴツヒの (L. von Liebig) 證明せる最少養分率なる法則あり又リカルド (D. Ricardo) の報酬漸減則あり之等が矛盾低觸すること無く定量的に綜合組織化せらるゝ事に依つて始めて施肥量の問題は解決すべく若し之等の原則を無視し、徒に施用せるか、豫期の收量は得ること出來がず、却つて障害を起すことゝなる。又此等法則は單に三要素量問題に限らず作物總べての養分、即ち日光、水分或は石灰、鐵、乃至熱量にも關係を持つものである。之によりて見ると作物養分は其の作物毎に、或る一定の釣合のとれた限度の色々の養分を施與する必要がある。

ある事を忘れてはならぬ。今本縣に於ける水稻土性上からして三要素の施與比率を綜合し割出して見れば、窒素一〇〇に對し、磷酸一二、二八、加里二六、五一であるが、勿論これ等の各其の土地々々によりて、異なるは勿論なれども之を本縣に於ける自給肥料及販賣肥料とを合せた水稻に施用せらるる三要素の絕對量の比率たる窒素一〇〇に對して、磷酸六二、五加里三一、九なる數字に比較對照し兩者の關係を考察して見ると、特に本縣に於ける磷酸の施用は他の二成分に比し過多に過ぎてゐると言ふ事が出来る、勿論磷酸、加里は窒素に比し無形的であることは申す迄もない故そこに多少の加減をすることは言ふ迄もない。

之等施肥量の比率問題は單に增收、品質向上等に重要な關係を有するのみならず、肥料經濟の根本原則に成るものであることは申すまでもない。

次に肥料の選擇問題であるが之は施肥量の問題と併行し重要な問題である。如何に施肥の適量が決定せられても最後に至り肥料の選擇を誤まらんか、何等其處に合理的施肥の意味は成立せない。此の肥料の選擇に必要な事は先づ第一に經濟優良的肥料と云ふ事である、申すまでもなく經濟肥料で優良肥料であると言ふことは前述の各種配給統制機關による肥料の安價購入は勿論肥料それ自身の安價なること、之には幾多の肥料それ自身の試験研究を参考とせなければならぬのみならず、又一方今迄申述べた各地々質土性等の條件とを適當に結び付け、徒らに購入肥料にとらわれず、自給肥料を第一主義とし合理的肥料の設計を確立することが必要である。

思ふに肥料は無限であり、土地も又無限である。特に今日肥料需要界に投ぜられた大なる波紋は何のであるか、各種の肥料の續出時代に直面せる營業者はすべからず之等諸種の因子を了解すると同時に明日に於ける施肥の改良を如何にすべきやを意識せなければならぬ。

斯くして眞の施肥の合理化の目的は達成せられ延いては農村の經濟更生の眞髓を活かす事が出来るものと確信して止まら

5000ある。

加里肥料の效果に關する新研究の二三に就て

大日本加里株式會社農業部
技師 平 松 琢 雄

歐米各國の肥料消費統計に依れば施肥上三要素の配合に就て如何に農家諸君が深甚なる注意を拂ひつゝあるか判る。今試に一九三一年に於ける主要國の販賣肥料中の三要素施用の割合を見るに次表の通であつて

	窒素	磷酸	加里
獨逸	100	133	144
佛國	100	244	120
オランダ	100	150	93
歐阿二十三ヶ國平均	100	200	115
日本	100	85	27

歐洲各主要國に於ては窒素に比し磷酸加里の施用量は遙かに多きに不拘、獨り我が日本に於ては窒素磷酸の二要素に比し加里の施用割合極て少く、爲に農家は不知不識の中に施肥の不合理を繰り返し年々少からざる損失を招きつゝある事實を

認めざるを得ない。本邦の加里施用量が窒素磷酸に比し過少なる所以は日本に對し加里普及の歴史が比較的新しく一般農家に對する加里肥料の效果に就ての認識が徹底して居ない理由に依るものなるが故に、肥料三要素合理の配合施用に依り農産物の改良増産を圖り以て食糧の充實と農家經濟の改善を助長するの見地より本邦農家諸氏に對し加里肥効に關する紹介を試みる事は極めて重要な事項と確信して居る次第であるが、筆者は曩に鳥取縣農會刊行に係る「第一回合理的施肥法實地指導地水稲成績」に於て、鳥取縣主要農産物に對する加里の效果に關し紹介し置きたるを以て本文に於ては斷片的に加里に關する最近の試験成績（讀者に新しきは餘り新しくないかも知れぬが）を紹介する事にした。

一、健全なる發育をなせる水稲は窒素以上に加里を吸収する事實が判明した。
米一石を生産するには一反歩から普通窒素一貫、磷酸三六〇匁、加里七五〇匁内外を吸収するといふ事が本邦一般農業技術者間には長い間信ぜられてゐたが廣島、農試に於て施行した農林省委託試験に依つて水稲の三要素吸収割合は施用肥料の如何に依つて非常なる差異を生じ少く共剛健なる發育を遂げ従つて收量並に品質の勝れる米作に於ては窒素に比し寧ろ加里を多量に吸収するの事實が判明した。
次表は其の成績の一端である。

(第一表)

各作加里 各作無加里 各作併肥 標準加肥料	反當收量		當三要素吸收量	
	玄米	藥	窒素	磷酸
各作加里	三石六	一六九匁	三貫三	〇貫九
各作無加里	三、〇	一八	三、〇	〇、八
各作併肥	三、八	一八三	三、六	一、〇
標準加肥料				三、九

(第二表) 米一石生産に當り一段歩より吸収する三要素量

肥料	窒素		磷		酸	
	吸収量	比率	吸収量	比率	吸収量	比率
各作加里	八五〇	100	三五〇	100	元	九〇〇
各作無加里	1,000	100	四〇〇	100	四〇	七〇〇
標加併肥料	九〇〇	100	三六〇	100	元	一,〇五〇

故に今後の稲作施肥指導に當りては、加里施用を一層重視し少くとも加里施用量は窒素以上の目標のもとに施肥指導をなす必要があるに非るかと思へらるゝのである。

二、水稻に對し加里施用は窒素の節約を可能ならしむると共に稻熱病及螟蟲被害を軽減し倒伏挫折を防ぐ効果大なり
 水稻施肥に於て加里の併用を伴はざる窒素磷酸の偏用は徒らに窒素の不自然なる贅澤吸収をなさしめ莖葉は軟弱にして暗緑色となり螟蟲被害を多からしめ(宮城農試の調査に依れば三要素區に比し無加里區の螟蟲被害莖切取数は數倍の多きに達して居る)莖葉中の窒素含有率大となり恰も窒素を多用せる場合と同様となり稻熱病を誘發する(廣島農試調査)事實が確認せらるゝに至つた次表は籾及藁中に含まるゝ三要素所含量が加里の施否に依りて如何に變化するものなるや換言すれば加里の施用に依り最も高價なる肥料要素たる窒素の節約を圖り得る事實を明示するものである。

農林省指定 水稻に對する加里肥料の效果に關する成績(廣島農試)

窒素區	乾物百分中所含三要素量					
	籾	藁	磷	酸	加里	藁
多施	1.47%	0.93%	0.33%	0.33%	0.69%	1.23%
少施	1.47%	0.93%	0.33%	0.33%	0.69%	1.23%

然し此に讀者の誤解を防ぐ意味を以て附言して置きたいと思ふ事は加里を併用すれば水稻の藁及籾中の窒素含有率は低下するも、施用窒素の吸収絶對量は加里の併用に依りて大いに増進せらるゝ事實是である。(第一表参照)

更に此の事實を詳述するならば、加里を施さざる場合は吸収せられたる窒素は作物體中で十分なる機能發揮せずして分徒らに莖葉中に遊んで居る事となるのであつて、而も夫が爲に莖葉が暗緑色となつて前記弊害を誘起し所謂「青田作の米とらず」といふ事になるのである。而も加里を施用せざる場合は作物の生育、收量共に不十分なる爲施したる窒素は十分に吸収せられず流亡逃散して肥料經濟上多大の損失を招く事となるのであつて、徒らに窒素偏重の施肥をさせる農家諸氏に對し往々「窒素を幾分減じて加里を施せ」の聲を聞く誠に故方しとしないのである。殊に加里は太陽光線の「エネルギー」を濃縮して植物の同化作用を促進し以て、天候不良の場合に於ても其の災害を軽減するの事實が認められてゐる今日(作年東北地方に於て一般農家は冷害の爲收穫皆無に近き慘害を見たるに不拘加里を重要視せる篤農家は平年に近き收穫を示せる事實は枚擧に暇なき程である)

比較的天候に恵まれざる山陰地方の農家諸氏は特に加里問題の研究を怠つてはならぬと思ふのである。

同	東伯	同	同	同	同	同	同	同	氣高	同	同
同	日下	同	中郷	同	同	同	正條	同	千代水	下私都	丹比
同	同	同	砂壤	同	同	同	植壤	同	壤土	同	植壤
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ
三、二、五、六、五、五〇	三、二、四、八、〇〇〇	三、一、〇、七、〇〇〇	三、一、五、七、五〇〇	三、一、〇、四、二、〇〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇	三、一、四、二、六、五〇〇
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ
一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇	一、一、八、〇、〇、二〇
二、〇、五〇	二、〇、五〇	四、〇、六〇	三、三、八、四〇	二、七、六〇	二、八、七〇	二、六、八〇	二、七、一〇	二、八、〇〇	二、八、〇〇	二、七、三〇	三、二、〇〇
二、〇、〇〇	二、〇、〇〇	二、〇、七〇	二、五、一〇	二、四、五〇	二、四、五〇	二、四、五〇	二、四、五〇	二、四、〇〇	二、四、〇〇	一、六、五〇	二、七、二〇
二、〇、三〇	二、〇、三〇	二、三、六〇	二、三、六〇	二、一、〇〇	二、一、〇〇	二、一、〇〇	二、一、〇〇	一、四、九八	一、四、九八	一、七、九〇	二、三、六〇
六五、五九	六五、五九	九七、四七	八六、三六	八二、八二	八五、八三	八〇、六四	八一、〇七	八四、七九	八四、七九	八一、七八	九四、七〇
一〇、三四	九、四七	一四、七五	八、四八	八、九一	九、九七	九、九七	九、九七	七、九三	七、九三	一〇、六六	一〇、七九
五五、二五	五六、一二	八二、七二	七八、九五	七三、九一	九五、八六	七〇、六七	七一、一〇	七六、八六	七六、八六	七一、一二	八三、九一

八頭	同	岩美	同	米子	同	同	同	鳥取	郡市
散岐	同	本庄	同	西大谷	同	同	同	濱坂	町村
植土	同	粘壤	同	植土	同	同	植壤	壤土	土質
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	指導地
二、一、七、六〇〇	二、一、六、八〇〇	二、一、四、四、七、五〇	二、一、七、七、五〇〇	三、一、二、七、七、八〇〇	二、一、四、四、六、〇〇〇	三、一、三、八、九、九〇〇	三、一、三、八、九、九〇〇	三、一、三、八、九、九〇〇	三、一、三、八、九、九〇〇
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	隣接地
一、二、四、七、五〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇	一、二、三、八、〇〇
二、二、四〇	二、二、八五〇	二、二、七〇〇	二、二、二〇〇	二、二、四〇〇	三、二、二五六	三、一、九一	二、九、九一	二、五、〇〇	二、五、〇〇
二、一、五〇	二、二、〇〇	二、二、〇〇	二、二、〇〇	二、二、〇〇	二、二、一一二	二、二、一一二	二、二、一一二	一、九、〇〇	一、九、〇〇
一、七、五〇	一、八、〇〇	一、八、〇〇	一、九、〇〇	一、九、〇〇	一、九、三〇	一、九、三〇	一、九、三〇	二、〇、〇〇	二、〇、〇〇
六四、九八	八二、〇〇	七八、七〇	六四、五〇	六九、七〇	九二、五六	九一、七五	八六、〇〇	六八、七〇	六八、七〇
八、八〇	一〇、二三	九、七三	九、五二	九、八〇	六、三一	一一、九八	一〇、七六	九、七一	九、七一
五六、一八	七一、七七	六八、九七	五四、九八	五九、八七	八七、二五	七九、七七	七五、二四	五八、八九	五八、八九

水稻指導地成績一覽表

同	同	同	同	同	同	日野	同	同	同	同	同
同	同	同	江尾	同	同	日野上	同	春日	同	同	手間
同	同	同	腐壤	同	同	砂壤	同	壤土	同	同	植壤
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ
三、二、二、四、六、二、五、〇、〇、五、〇、〇	三、二、二、〇、七、五、〇、〇、〇、〇、〇	三、一、二、八、〇、〇、〇、〇、〇、〇	六、四、二、〇、〇、五、〇、〇、〇、〇	三、二、二、四、一、三、〇、〇、〇、〇	四、二、二、六、六、五、〇、〇、〇	四、二、二、四、六、七、〇、〇、〇	二、二、一、八、五、七、〇、〇、〇	一、一、三、六、七、一、〇、〇、〇	四、二、二、二、一、二、〇、〇、〇	二、一、二、六、八、二、〇、〇、〇	二、一、二、六、八、二、〇、〇、〇
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ
二、一、二、四、一、一、〇、〇、〇、〇	二、一、二、八、七、二、〇、〇、〇、〇	二、三、二、三、五、〇、〇、〇、〇	三、二、二、〇、〇、〇、〇、〇、〇	二、二、二、四、四、三、〇、〇、〇	四、三、二、八、九、三、〇、〇、〇	四、二、二、四、四、〇、〇、〇、〇	〇、一、一、八、六、八、五、一、八	二、一、一、〇、六、九、八、二、一	一、〇、二、六、七、三、五、五、五	〇、〇、一、九、六、一、三、五、五、五	一、〇、一、二、七、八、四、一、五
三、四、五、〇	三、八、九、〇	三、九、七、〇	三、六、〇、〇	三、〇、〇、〇	二、九、〇、〇	三、一、〇、〇	二、六、〇、〇	二、四、〇、〇	二、二、三、二	二、一、七、三	二、二、一、五
三、〇、〇、〇	三、三、〇、〇	三、二、四、〇	三、二、〇、〇	二、六、〇、〇	二、六、〇、〇	二、八、五、〇	二、二、〇、〇	二、二、〇、〇	二、〇、七、一	二、〇、七、一	二、〇、三、九
二、四、〇、〇	二、六、〇、〇	二、五、〇、〇	二、七、〇、〇	二、二、四、〇	二、二、四、〇	二、二、四、〇	二、〇、〇、〇	二、〇、〇、〇	一、九、一、八	一、九、一、八	一、九、一、八
九、五、〇、二	一〇、七、六、六	一〇、九、七、五	九、九、三、六	八、〇、七、〇	七、八、〇、六	八、三、三、五	七、一、〇、五	六、五、四、〇	六、五、四、九	六、三、四、四	六、四、七、二
一一、二、八	一二、三、六	一一、三、六	一六、一、五	一〇、八、二	一三、八、二	一一、八、〇	三一、二、四	二八、〇、二	一一、一、九	八、四、六	八、四、六
八三、七、四	九五、三、〇	九八、三、九	八三、二、一	六九、八、八	六四、二、四	七〇、五、五	三九、八、一	三七、三、八	五四、三、〇	五四、九、八	五六、二、六

同	同	同	同	同	西伯	同	同	同	同	同	同
同	同	同	車尾	同	高麗	同	下郷	同	上北條	同	社
同	同	同	砂壤	同	壤土	同	砂壤	同	同	同	植壤
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ
三、二、二、八、六、〇、〇、〇、〇	三、一、二、七、五、〇、〇、〇、〇	三、一、二、八、〇、〇、〇、〇、〇	四、一、二、九、七、〇、〇、〇、〇	二、一、一、六、九、九、〇、〇、〇	三、二、二、三、三、〇、〇、〇、〇	三、二、二、〇、三、〇、〇、〇、〇	三、二、二、四、八、〇、〇、〇、〇	三、二、二、三、〇、〇、〇、〇、〇	三、二、二、九、三、七、〇、〇、〇	二、一、一、八、八、三、一、〇、〇、〇	二、一、一、八、八、四、〇、〇、〇、〇
カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ	カリチ
二、二、四、一、二、二、五、五、〇	二、二、三、四、二、二、五、五、〇	二、二、四、一、二、二、五、五、〇	二、二、四、一、二、二、五、五、〇	二、一、一、四、六、一、五、六、〇	二、一、一、四、六、一、五、六、〇	二、一、一、四、六、一、五、六、〇	二、一、一、七、二、〇、二、〇、〇	二、一、一、七、二、〇、二、〇、〇	二、一、一、七、六、一、七、〇、〇	二、一、一、七、六、一、七、〇、〇	二、一、一、七、六、一、七、〇、〇
二、六、三、〇	二、七、一、〇	二、九、〇、〇	二、五、四、〇	二、七、〇、〇	二、八、〇、〇	二、八、七、〇	二、八、〇、〇	二、八、〇、〇	二、八、五、〇	三、〇、〇、〇	二、一、五、〇
二、三、五、〇	二、五、〇、〇	二、五、〇、〇	二、五、〇、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、六、〇、〇	二、六、〇、〇	一、九、六、〇
二、一、八、〇	二、一、八、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、〇、〇、〇	二、〇、〇、〇	二、〇、〇、〇	二、〇、〇、〇	二、〇、〇、〇	二、四、〇、〇	一、四、〇、〇	一、八、三、〇
七三、四、六	七五、七、〇	八〇、三、〇	七〇、九、四	七六、八、七	七九、五、〇	八八、八、六	八七、四、〇	九三、五、七	九八、三、二	六五、〇、〇	六五、九、七
一〇、四、二	一〇、三、五	九、二、三	一〇、九、九	九、三、二	一三、三、二	九、二、五	九、二、五	一二、三、七	一二、二、三	二五、三、〇	二五、一、二
六三、〇、四	六五、一、五	七〇、九、七	五九、九、五	六七、五、五	六六、一、八	七九、六、一	七八、一、五	八一、二、〇	八六、〇、九	三九、七、〇	四〇、八、五

各指導地の成績（水稻の部）……二一

各指導地の成績（裏作物）……六六

(地跡英雲紫) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素	稻糞		
一、九〇〇	三、一九一	二、一九八	四、三三	六、〇〇	六、二八	二〇〇	一〇〇	
(當反)較收支		三、〇三〇			一、三〇〇	一、三六〇	〇、五〇〇	
五、三〇七	八、七、五	一、四九〇		一、一四〇		〇、三三〇	〇、三三〇	
四、〇〇〇	四、〇〇〇	三、八九〇	一、九〇〇			一、七〇〇	〇、二七〇	
五、七、〇七	九、九、五	計		強過石	紫雲英	下肥	種類	
五、九〇〇	一〇、五	一〇、四		一〇	四〇〇	四〇〇	數量	
		一〇、四		一、五〇	四、三八	四、七六	金額	
五、九〇〇	一〇、五	三、七〇〇			一、六八〇	〇、三六〇	N	
		二、七〇〇			一、九〇〇	〇、五三〇	P	
		二、七〇〇					K	
五、一、七	七、九、七	差引						

(地跡英雲) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素	紫雲英		
一、九〇〇	三、一九一	二、一九八	四、三三	六、〇〇	六、二八	二〇〇	一〇〇	
(當反)較收支		三、九〇〇			〇、八〇〇	一、六八〇	〇、五〇〇	
五、三〇七	八、七、五	一、七〇〇		〇、七〇〇		〇、三三〇	〇、三三〇	
四、〇〇〇	四、〇〇〇	三、五〇〇	一、四〇〇			一、五〇〇	〇、六〇〇	
五、七、〇七	九、九、五	計		強過石	紫雲英	下肥	種類	
五、九〇〇	一〇、五	一〇、四		一〇	四〇〇	四〇〇	數量	
		一〇、四		一、五〇	四、三八	四、七六	金額	
五、九〇〇	一〇、五	三、六〇〇			一、六八〇	〇、三六〇	N	
		二、八〇〇			一、九〇〇	〇、五三〇	P	
		二、八〇〇					K	
五、一、七	七、九、七	差引						

(地地跡英雲紫) 號一主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	石灰	硫酸加里	強過石	石硫酸素		
一、九〇〇	二、四〇〇	九、八三三	〇、三八	一、七三	一、〇五	〇、九三	五、七五	
(當反)較收支		二、九〇〇				〇、六〇〇	二、一〇〇	
四、八、四〇	六、三、〇〇	一、七、八〇			一、三、〇〇	〇、四、〇〇	一、八、五〇	
八、〇〇	八、五〇	三、五九〇		一、四、〇〇			一、八、五〇	
五、六、四〇	六、九、七〇	計	強過石	木豆粕	大實粕	堆實肥	紫雲英	
九、八二	九、八三	計	七	三	五	一	三	
		肥料	一、〇五	一、五〇	一、二八	二、六八	三、三三	
		其他					一、七、六〇	
九、八二	九、八三	計	二、六三五		〇、三三五	〇、七五〇	一、七、六〇	
		出	三、〇三四	一、四〇〇	〇、七八〇	〇、三三五	〇、七五〇	
四、六、六四	五、九、八七	差引	四、五八九		〇、一〇〇	〇、九〇〇	一、一、一〇	

(地跡麥裸) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	硫安		
一、九〇〇	三、三三〇	六、三二	四、二二	六、〇〇	三、〇〇	二、三九	
(當反)較收支		一、五〇〇			〇、四〇〇	一、二、四〇	
五、三、〇七	八、九、五〇	一、四、〇〇		一、一、四〇		〇、三、六〇	
四、〇〇	四、〇〇	二、四、六〇		一、九、三〇		〇、五、四〇	
五、七、〇七	六、三、〇八	計	強過石	紫雲英	下肥	種類	
五、九〇	六、三二	肥料	五、九〇	一、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	
		其他			一、五〇	四、三六	
五、九〇	六、三二	計	一、〇、五四		一、六八〇	二、三、九〇	
		出	三、九六〇		〇、三六〇	〇、五、〇〇	
五、一、一七	八、七、三五	差引	二、七八〇	一、九〇〇	一、四八〇	一、〇、八〇	

(地跡英雲紫、麥大) — 主坊銀 — (種、品)

收量(當反)		肥料(當反)				面積	所在地
町村平均	指導地	強過石	硫酸加里	石灰窒素	蠶渣		
1,800	2,000	7	3	6	5	一反五畝	岩美郡本庄村
支收比較(當反)		種類				地性	擔當者
4,980	5,500	7,700	4,000	2,900	3,000		
收入		肥料				其他	出計
5,500	6,700	6,700	6,400	7,200	6,400		
支出		其他				差引	
7,200	6,400	6,700	3,000	6,400	7,200		

(地跡麥) — 山、大 — (種、品)

收量(當反)		肥料(當反)				面積	所在地
町村平均	指導地	強過石	硫酸加里	石灰窒素	厩肥		
1,900	2,000	2	5	6	3	二反〇畝	米子市西大谷
支收比較(當反)		種類				地性	擔當者
4,850	5,100	8,400	8,000	5,500	5,000		
收入		肥料				其他	出計
5,500	6,000	6,000	9,500	9,800	1,080		
支出		其他				差引	
9,800	10,800	9,500	1,050	1,200	9,800		

(地跡英雲紫麥) — 主坊銀 — 種 品

(當反)量收			(當反)料						面 積	所 在 地
町 村 平 均	隣 接 地	指 導 地	計	石 灰	硫 酸 加 里	強 過 石	硫 石	堆 肥		
一、七五〇	二、一五〇	二、二四〇	八、八〇〇	一、〇六八	〇、〇六六	〇、〇六八	一、一〇〇	三、〇〇〇		
(當反)較比支收			二、一〇〇				〇、〇六〇	一、五〇〇		
支收			一、七〇〇			〇、九五〇		〇、七五〇		
副產物			二、支〇		〇、九六〇			一、八〇〇		
入			計		配合五號		人糞尿	堆肥		
肥料支			八、八五〇			一〇〇	一〇〇	二〇〇		
其他			六、七三〇			一、九五〇	一、一〇〇	三、五八〇		
出			計	六、七三〇		〇、五〇〇	〇、五〇〇	一、〇〇〇		
差引			四、一八〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			八、八五〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			六、七三〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			五、五五〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			四、一八〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			八、八五〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			六、七三〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			五、五五〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		
			四、一八〇			一、四三〇	〇、三〇〇	一、〇〇〇		

(地跡英雲紫、麥大) — 關大早 — 種 品

(當反)量收			(當反)料					面 積	所 在 地
町 村 平 均	隣 接 地	指 導 地	計	硫 酸 加 里	強 過 石	石 灰 窒 素	堆 肥		
一、八〇〇	二、二〇〇	二、八五〇	七、七〇〇	三、〇〇〇	〇、八〇〇	一、八五〇	三、〇〇〇		
(當反)較比支收			二、一〇〇			一、二〇〇	一、〇〇〇		
支收			一、八〇〇		一、三〇〇		〇、五〇〇		
副產物			二、支〇		一、四〇〇		一、一〇〇		
入			計		硫 安	強 過 石	大 豆 粕		
肥料支			七、二〇〇			四〇〇	一、〇〇〇		
其他			六、四〇〇			一、一〇〇	四、〇〇〇		
出			計	六、四〇〇		〇、八〇〇	一、〇〇〇		
差引			四、五〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			七、七〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			六、四〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			五、七〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			四、五〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			七、七〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			六、四〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			五、七〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		
			四、五〇〇			一、〇〇〇	〇、二〇〇		

(地跡麥) 穗旭一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	石灰	硫酸	強過			
一、四九八	二、八〇〇	七、九九	〇、四〇	二、三〇	〇、七五	二、五〇	氣高郡千代村	
二、四〇〇	二、八〇〇	二、六五〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇		
(當反)較比支收		地					〇步	擔當者
支米	副產物	N	P	K	種類	數量		
六、五三	六、二七	一、五五	〇、九五	一、五〇	堆肥	一、〇〇	大田昇平	
四、〇三	四、〇〇	三、四三〇	一、九三〇	一、五〇〇	棉實	二、二〇		
入		土性					壤	大田昇平
計	肥料	其他	計	數量	金額	N		
八、四九	六、〇〇	七、九三	七、〇〇	二、九〇	一、〇〇	〇、六七	土	
四、〇三	六、〇〇	六、〇〇	一、六七三	三、一〇	〇、五五	〇、二八		
出		行					土	平
計	其他	計	N	P	K	金額		
六、〇〇	七、九三	〇、七九	〇、七九	〇、二八	〇、〇〇	〇、〇〇	差引	
六、〇〇	六、八六	〇、九六	〇、九六	〇、一七	〇、〇〇	〇、〇〇		

(地跡麥) 穗旭一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	石灰	硫酸	強過			
一、四九八	二、八〇〇	七、九九	〇、四〇	二、三〇	〇、七五	二、五〇	氣高郡千代水村	
二、四〇〇	二、八〇〇	二、六五〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇		
(當反)較比支收		地					〇步	擔當者
支米	副產物	N	P	K	種類	數量		
六、五三	六、二七	一、五五	〇、九五	一、五〇	堆肥	一、〇〇	大田昇平	
四、〇三	四、〇〇	三、四三〇	一、九三〇	一、五〇〇	棉實	二、二〇		
入		土性					壤	大田昇平
計	肥料	其他	計	數量	金額	N		
八、四九	六、〇〇	七、九三	七、〇〇	二、九〇	一、〇〇	〇、六七	土	
四、〇三	六、〇〇	六、〇〇	一、六七三	三、一〇	〇、五五	〇、二八		
出		行					土	平
計	其他	計	N	P	K	金額		
六、〇〇	七、九三	〇、七九	〇、七九	〇、二八	〇、〇〇	〇、〇〇	差引	
六、〇〇	六、八六	〇、九六	〇、九六	〇、一七	〇、〇〇	〇、〇〇		

(地閑休) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地	
町村平均	隣接地	計	石灰	硫酸加里	強過石	硫酸安			堆厩肥
二、一〇〇	二、四〇〇	九、九七	一〇	四	六	二	五	三、五〇	氣高郡正條村勝見
二、四〇〇	二、六八〇	二、六五〇	〇、四〇	一、九三	〇、九〇	〇、七三	一、五八	四、四七	
(當反)較比支收		二、六五〇				〇、四〇〇	一、〇〇〇	一、三五〇	〇 步
五、一四〇	六、七三〇	一、七五五			一、一四〇			〇、六二五	
副產物		三、四三〇		一、九二〇				一、五〇〇	擔當者
六、二	六、四	五、七、六		石灰	木	強過石	堆厩肥	二〇〇	
肥料支		五、九四		六	一〇	八	三、五八	三、五八	田中久吉
五、九四	七、一八	七、一八		一、九〇	〇、五〇	一、三〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
其他				七、一八				一、〇〇〇	土性
		二、三〇〇		一、一〇〇				〇、五〇〇	
計		五、九四		二、三〇〇		〇、二六〇	一、五〇〇	一、一〇〇	土
五、九四	七、一八	二、三〇〇		一、一〇〇		〇、二六〇	一、五〇〇	一、一〇〇	
差引		五、一六三		一、八〇〇		〇、六〇〇		一、一〇〇	
五、一六三	六、六三	一、八〇〇		〇、六〇〇				一、一〇〇	

(地閑休) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地	
町村平均	隣接地	計	石灰	硫酸加里	強過石	硫酸安			堆厩肥
二、一〇〇	二、四〇〇	九、九七	一〇	四	六	二	五	三、五〇	氣高郡正條村勝見
二、四〇〇	二、七〇〇	二、六五〇	〇、四〇	一、九三	〇、九〇	〇、七三	一、五八	四、四七	
(當反)較比支收		二、六五〇				〇、四〇〇	一、〇〇〇	一、三五〇	〇 步
五、一四〇	六、七三〇	一、七五五			一、一四〇			〇、六二五	
副產物		三、四三〇		一、九二〇				一、五〇〇	擔當者
六、二	六、四	五、七、六		石灰	木	強過石	堆厩肥	二〇〇	
肥料支		五、九四		六	一〇	八	三、五八	三、五八	田中久吉
五、九四	七、一八	七、一八		一、九〇	〇、五〇	一、三〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
其他				七、一八				一、〇〇〇	土性
		二、三〇〇		一、一〇〇				〇、五〇〇	
計		五、九四		二、三〇〇		〇、二六〇	一、五〇〇	一、一〇〇	土
五、九四	七、一八	二、三〇〇		一、一〇〇		〇、二六〇	一、五〇〇	一、一〇〇	
差引		五、一六三		一、八〇〇		〇、六〇〇		一、一〇〇	
五、一六三	六、六三	一、八〇〇		〇、六〇〇				一、一〇〇	

(地跡麥小) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥							面積	所在地	
町村平均	指導地	計	石灰	硫酸	強過	石灰	堆厩	紫雲英			
二,一〇〇	二,四〇〇	八,九二〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一反四畝	氣高郡正條村勝見
(當反)較收支		地							土性	擔當者	
五,四〇〇	六,七〇〇	一,四〇〇	〇,九五〇	〇,四〇〇	〇,六〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
收		慣							植質壤土	勝見農事改良組合	
五,四〇〇	六,七〇〇	三,〇一〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
入		行							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
支		出							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
其他		計							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
計		計							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
差引		差引							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇

(地閑休) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥							面積	所在地	
町村平均	指導地	計	石灰	硫酸	強過	石灰	堆厩	紫雲英			
二,一〇〇	二,四〇〇	九,九七〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一反一畝	氣高郡正條村勝見
(當反)較收支		地							土性	擔當者	
五,四〇〇	六,七〇〇	〇,六五〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
收		慣							植壤土	勝見農事改良組合	
五,四〇〇	六,七〇〇	三,三三〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
入		行							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
支		出							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
其他		計							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
計		計							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇
差引		差引							差引	一,八〇〇	
五,四〇〇	六,七〇〇	七,一八〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇			〇,〇〇〇

(地跡麥) 主坊銀一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	種	強過石	硫酸加里	堆肥		
二,三六〇	四,〇〇〇	計	二,五	〇,六	三,〇〇	一反三畝〇步	氣高郡中鄉村北河原
二,三六〇	四,〇〇〇	玄米	一,一九	〇,六	三,〇〇	土性	擔當者
五,七九	八,〇四	副產物	一,一〇	〇,九	一,八〇		
六,七五	八,四七	計	二,八	一,三	二,〇	砂質壤土	小林甚平
六,七五	八,四七	肥料	二,八	一,三	二,〇		
六,七五	八,四七	其他	一,〇〇	一,〇〇	一,〇〇	差引	
六,七五	八,四七	計	一,〇〇	一,〇〇	一,〇〇		

(地跡英雲紫) 主坊銀一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	種	強過石	硫酸加里	堆肥		
二,三六〇	三,三六	計	一,五	三,五	一,〇〇	四反〇畝一五步	氣高郡中鄉村北河原
二,三六〇	三,三六	玄米	〇,五	一,九	一,九	土性	擔當者
五,八七	八,七四	副產物	一,一	一,四	〇,三		
六,三	六,三	計	六,三	六,三	六,三	砂質壤土	小林甚平
六,三	六,三	肥料	六,三	六,三	六,三		
六,三	六,三	其他	一,〇〇	一,〇〇	一,〇〇	差引	
六,三	六,三	計	一,〇〇	一,〇〇	一,〇〇		

(地跡英雲紫) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	過石	硫酸安	紫雲英肥		
二,〇三〇	二,〇〇〇	一	三	七	二	三〇	二〇〇	
二,〇〇〇	二,〇〇〇	一〇,三三四	二,三四	〇,九	〇,七	二,六	三,五六	
(當反)較收支		N			〇,四〇〇	一,〇五〇	一,〇〇〇	
五,一六	五,四〇〇	二,四五〇				〇,三三五	〇,〇五〇	
九,三二	九,三二	二,〇五五	一,四四〇			〇,九三五	一,二〇〇	
六〇,九七	六三,三二	三,五六五						
七,一五	七,二七	計				五號磷肥	堆肥	
七,一五	七,二七	肥料						
七,一五	七,二七	其他						
七,一五	七,二七	計						
五三,八三	五五,九四	差引						

(地跡種菜) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	硫酸安	堆肥		
二,〇三〇	二,〇〇〇	一	三	七	二	三〇	二〇〇	
二,〇〇〇	二,〇〇〇	九,四七	二,三四	〇,九	〇,七	二,六	三,五六	
(當反)較收支		N			〇,四〇〇	一,〇五〇	一,〇〇〇	
五,一六	五,四〇〇	二,四五〇				〇,三三五	〇,〇五〇	
九,三二	九,三二	二,〇五五	一,四四〇			〇,九三五	一,二〇〇	
六〇,九七	六三,三二	三,五六五						
七,一五	七,二七	計				配合五號肥	堆肥	
七,一五	七,二七	肥料						
七,一五	七,二七	其他						
七,一五	七,二七	計						
五三,八三	五五,九四	差引						

(地跡種菜) 號一力強 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	隣接地	指	導	種	類	指		
1,830	1,960	2,150	2,150	2,150	2,150	3反3畝	東伯郡社村和田	
(當反)較比支收		計					0步	擔當者
47,111	50,577	5,474	10,117	9,533	10,117	土性		
收		入					山崎龍起	山崎龍起
1,830	1,960	2,150	2,150	2,150	2,150	堆肥		
支		出					土	山崎龍起
7,690	6,680	8,500	6,680	1,680	1,680	肥料		
差引		計					土	山崎龍起
3,140	3,720	3,970	5,437	3,853	4,437	其他		

(地跡種菜) 號一力強 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	隣接地	指	導	種	類	指		
1,830	1,960	2,150	2,150	2,150	2,150	1反7畝	東伯郡社村和田	
(當反)較比支收		計					0步	擔當者
47,111	50,577	5,474	10,117	9,533	10,117	土性		
收		入					山崎龍起	山崎龍起
1,830	1,960	2,150	2,150	2,150	2,150	堆肥		
支		出					土	山崎龍起
6,690	6,680	8,500	6,680	1,680	1,680	肥料		
差引		計					土	山崎龍起
3,140	3,720	3,970	5,437	3,853	4,437	其他		

(地跡種菜) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種目	種類	數量	金額		
二,四〇〇	三,六〇〇	二,八五〇	計	既肥	三〇〇	七,五〇〇	東伯郡上北條村小田	
				石灰窒素	四	〇,七〇〇		
				強過石	七	一,〇〇〇	擔當者	
				硫酸加里	四	二,〇〇〇		
				共同配合稻完全	五	一,一〇〇	山本金藏	
				計		一〇,七〇〇		
(當反)較收支		收		入		土性	堆壤土	
		支	米	種	類			數量
		六,九〇〇	八,一〇〇	既肥	肥	一五〇	二,六〇〇	
		七,四〇〇	九,三〇〇	強過石	石	一〇	一,一〇〇	
		一〇,〇〇〇	一二,〇〇〇	大豆粕	粕	七	一,一〇〇	
				共同配合稻完全	稻	五	一,一〇〇	
				計			六,八八〇	
				肥料	料		一,一四〇	
				其他	他		〇,四〇〇	
				計			一,六四〇	
				出			二,七〇〇	
				差引			一,一〇〇	

(地跡麥稈) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種目	種類	數量	金額		
一,四〇〇	二,六〇〇	三,〇〇〇	計	既肥	三〇〇	五,三〇〇	東伯郡上北條村小田	
				石灰窒素	六	一,一〇〇		
				強過石	七	一,〇〇〇	擔當者	
				硫酸加里	三	一,一〇〇		
				共同配合稻完全	五	一,一〇〇	山本金藏	
				計		一〇,二〇〇		
(當反)較收支		收		入		土性	堆壤土	
		支	米	種	類			數量
		六,九〇〇	八,六〇〇	既肥	肥	一五〇	二,六〇〇	
		七,四〇〇	九,三〇〇	強過石	石	一〇	一,一〇〇	
		一〇,〇〇〇	一二,〇〇〇	大豆粕	粕	七	一,一〇〇	
				共同配合稻完全	稻	五	一,一〇〇	
				計			六,八八〇	
				肥料	料		一,一四〇	
				其他	他		〇,四〇〇	
				計			一,六四〇	
				出			二,六七〇	
				差引			一,〇三〇	

(當反)量收			(當反)料			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種	類	指		
二,000	二,400	二,八七〇	計	種	類	二反五畝〇步	東伯郡下鄉村光好
			數量	金額	導		
			三,八〇〇	三,一〇〇	三,一〇〇	〇步	擔當者
			三,一〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇		
(當反)較比支收			(當反)較比支收			土性	小前信市
五,〇〇	六,〇〇	八,〇〇	計	種	類		
六,〇〇	八,〇〇	八,五〇	計	稻	一號	二砂壤土	
			數量	金額	行		
			七,六〇	三,三〇	〇,七〇		
			二,〇〇	四,〇〇	一,三〇		
			一,三〇	〇,六〇	〇,六〇		
			一,七〇	一,一〇	一,一〇		
			一,七〇	一,一〇	一,一〇		

(當反)量收			(當反)料			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種	類	指		
二,000	二,400	二,800	計	種	類	二反五畝〇步	東伯郡下鄉村光好
			數量	金額	導		
			九,三〇	一,一〇	一,一〇	〇步	擔當者
			一,一〇	一,一〇	一,一〇		
(當反)較比支收			(當反)較比支收			土性	松田永吉
五,〇〇	六,〇〇	八,〇〇	計	種	類		
六,〇〇	八,〇〇	九,〇〇	計	稻	一號	砂壤土	
			數量	金額	行		
			七,六〇	三,三〇	〇,七〇		
			二,〇〇	四,〇〇	一,三〇		
			一,三〇	〇,六〇	〇,六〇		
			一,七〇	一,一〇	一,一〇		
			一,七〇	一,一〇	一,一〇		

(地跡麥) 部北早 — 種 品

(當反)量收		(當反)料肥					面 積	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地 地	計	硫 酸 加 里	鷄 糞	過 石	堆 肥		
二,〇〇〇	二,四〇〇	七三三	一,五〇〇	一〇,〇〇〇	七,五〇〇	四,〇〇〇	西 伯 郡 高 麗 村 安 原	
二,〇〇〇	二,四〇〇	七三三	一,五〇〇	一〇,〇〇〇	七,五〇〇	四,〇〇〇		
(當反)較收支		一,六九〇	—	〇,三九〇	—	〇,〇〇〇	擔 當 者	
五,一五〇	六,三〇〇	一,八七〇	—	〇,三九〇	—	〇,〇〇〇		
收		二,一六三	一,四〇〇	〇,一三三	—	〇,六〇〇	種 田 雅 藏	
五,〇〇〇	五,四〇〇	二,一六三	一,四〇〇	〇,一三三	—	〇,六〇〇		
入		計	計	計	計	計	種 田 雅 藏	
五,七,五〇	六,八,八七	九,〇三	—	四,四〇〇	一,〇五	三,五八		
支		—	—	—	—	—	種 田 雅 藏	
八,六〇	九,四〇	九,〇三	—	四,四〇〇	一,〇五	三,五八		
其他		一,五〇	—	—	—	—	種 田 雅 藏	
一〇,一〇	一一,三〇	一,六〇〇	—	〇,六〇〇	—	〇,〇〇〇		
差引		二,一五〇	—	〇,〇〇〇	—	〇,〇〇〇	種 田 雅 藏	
四七,四〇	五七,一〇	二,一五〇	—	〇,〇〇〇	—	〇,〇〇〇		

(地跡麥) 部北早 — 種 品

(當反)量收		(當反)料肥					面 積	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地 地	計	硫 酸 加 里	強 過 石	石 灰 窒 素	既 肥		
二,〇〇〇	二,四〇〇	一,一三三	一,五〇〇	七,五〇〇	三,〇〇〇	三,五〇〇	西 伯 郡 高 麗 村 安 原	
二,〇〇〇	二,四〇〇	一,一三三	一,五〇〇	七,五〇〇	三,〇〇〇	三,五〇〇		
(當反)較收支		二,三三〇	—	—	〇,六〇〇	一,七五〇	擔 當 者	
五,一五〇	六,三〇〇	二,三三〇	—	—	〇,六〇〇	一,七五〇		
收		三,四〇〇	一,四〇〇	—	—	一,九〇〇	種 田 雅 藏	
五,〇〇〇	五,四〇〇	三,四〇〇	一,四〇〇	—	—	一,九〇〇		
入		計	計	計	計	計	種 田 雅 藏	
五,七,五〇	六,八,八七	九,〇三	—	四,四〇〇	一,〇五	三,五八		
支		—	—	—	—	—	種 田 雅 藏	
八,六〇	九,四〇	九,〇三	—	四,四〇〇	一,〇五	三,五八		
其他		一,五〇	—	—	—	—	種 田 雅 藏	
一〇,一〇	一一,三〇	一,六〇〇	—	〇,六〇〇	—	〇,〇〇〇		
差引		二,一五〇	—	〇,〇〇〇	—	〇,〇〇〇	種 田 雅 藏	
四七,四〇	五七,一〇	二,一五〇	—	〇,〇〇〇	—	〇,〇〇〇		

(地跡英雲紫) 號一主坊銀一 種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	石灰	過加里	硫酸	紫雲英		
二,四〇〇	二,五〇〇	九,三三〇	〇,八〇〇	一,〇五〇	二,〇〇〇	四,〇〇〇	西伯郡車尾村	
二,四〇〇	二,五〇〇	九,三三〇	〇,八〇〇	一,〇五〇	二,〇〇〇	四,〇〇〇		
(當反)較比支收							〇反五畝二九步	
五,六八〇	六,五〇〇	二,三三〇				一,六八〇		
五,六八〇	六,五〇〇	一,六九〇		一,三〇〇		〇,三六〇	擔當者 倉敷庄三郎	
四,七三〇	四,九〇〇	三,四〇〇		一,九三〇		一,四八〇		
入		計	石灰	過加里	硫酸	紫雲英	土性 砂壤土	
六,二四一	六,九〇〇	二,三三〇	一〇	一三	二〇〇	三五〇		
支		肥料	其他				倉敷庄三郎	
一〇,五五〇	一一,一五〇	二,二一五	一,三三〇	三,六〇〇	三,五六〇	二,六七〇		
出		計					高松幸太郎	
一〇,五五〇	一一,一五〇	四,四五〇		二,四〇〇	一,〇〇〇	一,〇五〇		
五〇,八六〇	五八,七五〇	二,二三五		一,五〇〇	〇,五〇〇	〇,三三五	砂壤土	
五〇,八六〇	五八,七五〇	二,二三五		一,五〇〇	〇,五〇〇	〇,三三五		

(地跡英雲紫) 號一主坊銀一 種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	石灰	過加里	硫酸	紫雲英		
二,四〇〇	二,五〇〇	二,八二〇	〇,八〇〇	一,〇〇〇	〇,九〇〇	三,〇〇〇	西伯郡車尾村	
二,四〇〇	二,五〇〇	二,八二〇	〇,八〇〇	一,〇〇〇	〇,九〇〇	三,〇〇〇		
(當反)較比支收							一反五畝一一步	
五,六八〇	六,五〇〇	二,二七〇				一,三六〇		
五,六八〇	六,五〇〇	一,九二〇		一,四〇〇		〇,三七〇	擔當者 高松幸太郎	
四,七三〇	四,九〇〇	四,三三〇		一,九三〇		一,一〇〇		
入		計	石灰	過加里	硫酸	紫雲英	土性 砂壤土	
六,二四一	六,九〇〇	二,三三〇	一〇	一三	二〇〇	三五〇		
支		肥料	其他				高松幸太郎	
一〇,五五〇	一一,一五〇	二,二一五	一,三三〇	三,六〇〇	三,五六〇	二,六七〇		
出		計					砂壤土	
一〇,五五〇	一一,一五〇	四,四五〇		二,四〇〇	一,〇〇〇	一,〇五〇		
五〇,八六〇	五八,七五〇	二,二三五		一,五〇〇	〇,五〇〇	〇,三三五	砂壤土	
五〇,八六〇	五八,七五〇	二,二三五		一,五〇〇	〇,五〇〇	〇,三三五		

(地跡麥) 號三關大早 — 種 品

所在地	面積	肥 料 (當 反)			種 類	指 導	種 目	(當反) 量 收	
		紫雲英	既 肥	石 灰				種 目	種 目
西伯郡車尾村車尾	二反二畝二步	紫雲英	既 肥	石 灰	指 導	種 目	種 目	種 目	
		數量	金額	數量			金額	數量	金額
擔當者	土 性	紫雲英	既 肥	石 灰	指 導	種 目	種 目	種 目	
		數量	金額	數量			金額	數量	金額
高橋幸太郎	砂 壤 土	紫雲英	既 肥	石 灰	指 導	種 目	種 目	種 目	
		數量	金額	數量			金額	數量	金額
		計	計	計	計	計	計	計	
		支	支	支	支	支	支	支	
		入	入	入	入	入	入	入	
		出	出	出	出	出	出	出	
		差引	差引	差引	差引	差引	差引	差引	

(地跡麥) 號三關大早 — 種 品

所在地	面積	肥 料 (當 反)			種 類	指 導	種 目	(當反) 量 收	
		紫雲英	既 肥	石 灰				種 目	種 目
西伯郡車尾村車尾	一反三畝一步	紫雲英	既 肥	石 灰	指 導	種 目	種 目	種 目	
		數量	金額	數量			金額	數量	金額
擔當者	土 性	紫雲英	既 肥	石 灰	指 導	種 目	種 目	種 目	
		數量	金額	數量			金額	數量	金額
倉敷庄三郎	砂 壤 土	紫雲英	既 肥	石 灰	指 導	種 目	種 目	種 目	
		數量	金額	數量			金額	數量	金額
		計	計	計	計	計	計	計	
		支	支	支	支	支	支	支	
		入	入	入	入	入	入	入	
		出	出	出	出	出	出	出	
		差引	差引	差引	差引	差引	差引	差引	

(地跡麥小) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素		
一、九一八	二、〇七二	八、四六	一、六五	一、〇三	一、五五	二〇〇	西伯郡手間村寺內
	二、一七三				三、八四	三、八四	
(當反)較比支收		二、二〇〇			一、一〇〇	N	地
收	米	一、八三〇		一、三三〇		P	
副產物		二、六四〇	一、四四〇			K	
入		計	消石灰	鍊石	既肥	種肥類	擔當者
計							
支		肥料		一〇	五	數量	小谷秀治
其他		四、九五		〇、四五	一、六〇	金額	
出		計			〇、四五	N	埴壤土
計		六、七			〇、七五	P	
差引		計			〇、二八〇	K	
四九、六三	五三、六九	〇、九五			〇、九〇	K	

(地跡麥小) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	過石灰	石灰窒素		
一、九一八	二、〇七二	八、四六	一、六五	一、〇三	一、五五	二〇〇	西伯郡手間村寺內
	二、一七三				三、八四	三、八四	
(當反)較比支收		二、二〇〇			一、一〇〇	N	地
收	米	一、八三〇		一、三三〇		P	
副產物		二、六四〇	一、四四〇			K	
入		計	消石灰	鍊石	既肥	種肥類	擔當者
計							
支		肥料		一〇	五	數量	前田英藏
其他		五、八九		〇、四五	一、六〇	金額	
出		計			〇、四五	N	埴壤土
計		六、七			〇、七五	P	
差引		計			〇、二八〇	K	
四九、六三	五三、六九	〇、九五			〇、九〇	K	

(英雲紫) 一日春 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰壘素	紫雲英		
二,000	二,四〇〇	10,000	三,110	一,113	一,150	五,000	西伯郡春日村下新印	
二,000	二,400	10,000	三,110	一,113	一,150	五,000		
(當反)較收支							擔當者	
五,三〇〇	五,六〇〇	三,100			1,000			
五,三〇〇	五,六〇〇	一,七六〇		一,三三〇		〇,四三〇	香田芳壽	
三,〇〇〇	三,三〇〇	一,六三五	一,四四〇			〇,一八五		
(當反)較收支							擔當者	
五,三〇〇	五,九八五	六,五四〇						
六,三	六,九	一〇,〇三					波邊新太郎	
一五,〇〇	一六,〇〇	一八,〇〇						
三,三	三,九	三,〇三					差引	
三,三	三,九	三,〇三						
三,三	三,九	三,〇三						

(地跡英雲紫) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	石灰	硫酸加里	強過石	厩肥		
一,九二八	二,〇三一	11,190	〇,六	二,三〇	一,〇三	二〇〇	三,〇〇	西伯郡手間村寺内
一,九二八	二,〇三一	11,190	〇,六	二,三〇	一,〇三	二〇〇	三,〇〇	
(當反)較收支								擔當者
四,九三九	五,三三	二,100				〇,七九〇		
四,九三九	五,三三	二,100				〇,七九〇		波邊新太郎
七,一〇	六,九	四,三三〇		一,九〇		一,一〇		
五,三	六,〇一	六,五						差引
六,七	九,〇五	一一,一九						
六,七	九,〇五	一一,一九						
六,七	九,〇五	一一,一九						

(跡閑休) 主坊銀 — 種 品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素	堆肥		
一、九一八	二、〇三九	二、八〇〇	一、一五五	一、一〇〇	一、〇〇〇	八、九五〇	日野郡日野上村矢戸	
二、三二五	二、〇三九	三、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	〇、〇〇〇	二、五〇〇		
(當反)較比支收		三、一〇〇			〇、〇〇〇	二、五〇〇	擔當者 岩崎豊雄	
五、〇〇三	七、七五〇	二、六五五	一、四〇〇	一、四〇〇	一、一五〇	三、〇〇〇		
四、四七	五、四七	四、四〇〇	一、四〇〇			三、〇〇〇	土性 砂壤土	
六〇、四九	八三、三五	計	硫酸加里	強過石	硫酸安	堆肥		
三、六	二、一七	三、一〇〇	三	五	二	五〇〇	土性 砂壤土	
三、六	二、一七	三、一〇〇	一、一五	〇、八〇	〇、七	八、九五		
三、六	二、一七	三、一〇〇			〇、二〇〇	二、五〇〇	土性 砂壤土	
三、六	二、一七	三、一〇〇			〇、九五〇	一、一五〇		
五、六、七	七、〇、五	四、四〇〇	一、四〇〇			三、〇〇〇	土性 砂壤土	
五、六、七	七、〇、五	四、四〇〇	一、四〇〇			三、〇〇〇		

(地跡英雲紫) 日春 — 種 品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	鶏糞	堆肥		
二、〇〇〇	二、三〇〇	八、七四〇	二、一〇〇	一、一〇〇	三〇〇	三、五八〇	西伯郡春日村下新印	
二、〇〇〇	二、三〇〇	八、七四〇	二、一〇〇	一、一〇〇	三〇〇	三、五八〇		
(當反)較比支收		一、七九八			〇、七九	一、〇〇〇	擔當者 松田令藏	
五、三〇	六、六五	三、五〇二		一、三〇〇	〇、六七	〇、五〇〇		
三、〇〇	三、三〇	二、八四四	一、四〇〇			一、四四四	土性 壤土	
五、三〇	五、八五	計	硫酸安	強過石	大豆粕	堆肥		
七、三	六、九四	八、七四〇	二	七	一	五〇〇	土性 壤土	
七、三	六、九四	八、七四〇	〇、七〇	一、一三	三、八〇	一、三三		
一、五、〇〇	一、六、〇〇	一、九八八	〇、四〇〇			〇、三三	土性 壤土	
一、五、〇〇	一、六、〇〇	一、九八八	〇、四〇〇			〇、三三		
三、三	三、九四	二、六五二			一、三三〇	〇、三六	土性 壤土	
三、三	三、九四	二、六五二			一、三三〇	〇、三六		
三、三	三、九四	二、六五二				〇、四三	土性 壤土	
三、三	三、九四	二、六五二				〇、四三		

(地跡麥) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	種目	種類	數量	金額		
						二,四〇〇	二,〇〇〇
			石灰窒素	四	一,三〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇		
			硫酸加里	三,五	一,九〇〇		
(當反)較比支收							
五,〇〇〇	五,〇〇〇	計	堆肥	〇,七五	一,八〇〇	土性	擔當者
			芝草	一	一,五〇〇		
			強過石	一,四三五	一,一〇〇	砂壤土	岩崎豐雄
			木灰	一	一,六〇〇		
支收		入		出			
五,〇〇〇	五,〇〇〇	計	堆肥	三〇〇	五,三〇〇	數量	金額
			芝草	一五〇	一,八〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇	N	P
			木灰	一	一,六〇〇		
肥料其他		肥料其他		肥料其他			
三,六	八,八	計	堆肥	三〇〇	五,三〇〇	N	P
			芝草	一五〇	一,八〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇	P	K
			木灰	一	一,六〇〇		
差引		差引		差引			
五,〇〇〇	六,七三	計	堆肥	三〇〇	五,三〇〇	N	P
			芝草	一五〇	一,八〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇	P	K
			木灰	一	一,六〇〇		

(地跡代苗) 主坊銀 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	種目	種類	數量	金額		
						二,三〇〇	二,〇〇〇
			石灰	一,五	〇,五		
			強過石	七,五	一,一〇〇		
			硫酸加里	三,五	一,九〇〇		
(當反)較比支收							
五,〇〇〇	五,〇〇〇	計	堆肥	一,二五〇	三,〇〇〇	土性	擔當者
			芝草	一	一,四三五		
			強過石	一,六〇〇	一,一〇〇	砂壤土	岩崎豐雄
			木灰	一	一,六〇〇		
支收		入		出			
五,〇〇〇	五,〇〇〇	計	堆肥	四〇〇	七,一〇〇	數量	金額
			芝草	一五〇	一,八〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇	N	P
			木灰	一	一,六〇〇		
肥料其他		肥料其他		肥料其他			
三,六	三,六	計	堆肥	四〇〇	七,一〇〇	N	P
			芝草	一五〇	一,八〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇	P	K
			木灰	一	一,六〇〇		
差引		差引		差引			
五,〇〇〇	五,〇〇〇	計	堆肥	四〇〇	七,一〇〇	N	P
			芝草	一五〇	一,八〇〇		
			強過石	七,五	一,一〇〇	P	K
			木灰	一	一,六〇〇		

(地跡代苗) 號一部北早 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	過硫酸石	硫酸加里	木灰	厩肥		
二,四〇〇	三,〇〇〇	一〇,七六	一〇	二	二,五	一〇	日野郡江尾村江尾	
三,四〇〇	三,四〇〇	一〇,七六	一〇	二	二,五	一〇		
(當反)較比支收							〇反五畝	
六,八〇〇	六,八〇〇	二,二五〇	一	一	〇,五〇〇	一		
收							土性	
三,七五	四,五三	二,六三五	一,五〇〇	一	〇,三三〇	〇,八七五		
入							擔當者	
六,六一五	八,三三三	三,四六〇	一	〇,九〇〇	〇,六〇〇	一,九〇〇		
支							腐植質壤土	
六,八四	八,三四	八,三四	二	七	五	三,五〇		
出							福田岩雄	
六,八四	八,三四	二,一五〇	〇,四〇〇	一	一,一三	〇,四五		
差引								
五,三二	七,四二	一,一〇〇	〇,一〇〇	〇,一〇五	〇,一三〇	〇,一八五		

(地跡代苗) 號一部北早 一種品

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	計	消石灰	過石灰	木灰	厩肥		
二,七〇〇	三,二〇〇	一五,六五	三	一〇	五	五〇〇	日野郡江尾村江尾	
三,六〇〇	三,六〇〇	一五,六五	三	一〇	五	五〇〇		
(當反)較比支收							〇反九畝九步	
七〇,二〇	八三,二〇	二,五〇〇	一	一	一	二,五〇〇		
收							土性	
四,一九	五,三六	四,〇五〇	一	一,五〇〇	一,三〇〇	一,二五〇		
入							擔當者	
七四,五九	八八,四六	六,〇〇〇	一	一,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇		
支							腐植質壤土	
七,一九	八,八六	八,八六	五	一〇	四〇〇	七,一六		
出							福田岩雄	
七,一九	八,八六	二,〇〇〇	〇,八〇	〇,九〇	七,一六	一,〇〇〇		
差引								
六,七〇	七,九六	一,〇一〇	〇,七五〇	〇,三六〇	〇,六〇〇	二,四四〇		

(地跡雲紫) 號一部北早 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	計	過石	木灰	厩肥		
二,六〇〇	三,三〇〇	三,八九〇	一〇	二五	三〇〇	二〇〇	日野郡江尾村江尾
二,六〇〇	三,三〇〇	三,八九〇	一〇	二五	三〇〇	二〇〇	
(當反)較比支收		二,四〇〇	—	—	一,五〇〇	〇,八〇〇	畝一八步
六,七,六〇	八,五,八〇	一〇,一,四〇	—	—	—	—	
六,七,六〇	三,九,九七	七,一,五七	—	—	—	—	擔當者
六,七,六〇	三,九,九七	七,一,五七	—	—	—	—	
六,七,六〇	三,九,九七	七,一,五七	—	—	—	—	福田岩雄
六,七,六〇	三,九,九七	七,一,五七	—	—	—	—	

(地閑休) 號一部北早 一種品

(當反)量收		(當反)料肥				面積	所在地
町村平均	指導地	計	過石	木灰	厩肥		
二,五〇〇	三,三〇〇	三,九七〇	—	—	—	—	日野郡江尾村江尾
二,五〇〇	三,三〇〇	三,九七〇	—	—	—	—	
(當反)較比支收		二,三〇〇	—	—	〇,〇〇〇	二,〇〇〇	畝二四步
六,五,〇〇	八,四,二四	一〇,三,三三	—	—	—	—	
六,五,〇〇	四,九,一	六,五,三	—	—	—	—	擔當者
六,五,〇〇	四,九,一	六,五,三	—	—	—	—	
六,五,〇〇	四,九,一	六,五,三	—	—	—	—	福田岩雄
六,五,〇〇	四,九,一	六,五,三	—	—	—	—	

英雲紫 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種目	種類		
七〇〇	二〇〇	二五〇	計	強過石	一反九畝	鳥取市叶
				硫酸加里		
主產物		一、七九	數量	〇、九	〇步	擔當者
副產物			金額	〇、九		
(當反)較收支		七、四九	N	〇、九	土性	藤井龜胤男
主產物		二、二七	P	〇、九		
副產物		一、五五	K	〇、九	堆質壤土	
計		七、四九	種類	強過石		
肥料		〇、七	數量	五	行	
其他		〇、九	金額	〇、九		
計		〇、七	N	〇、九	差引	
計		〇、七	P	〇、九		
計		六、七九	K			

種菜 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種目	種類		
一、三〇〇	一、七〇〇	一、八五〇	計	強過石	一反五畝	鳥取市叶
				硫酸加里		
主產物		一、八五〇	數量	〇、九	〇步	擔當者
副產物			金額	〇、九		
(當反)較收支		一、六〇〇	N	〇、九	土性	藤井龜胤男
主產物		二、三三	P	〇、九		
副產物		二、六〇	K	〇、九	堆質壤土	
計		一、六〇〇	種類	強過石		
肥料		一、一〇〇	數量	五	行	
其他		一、一〇〇	金額	〇、九		
計		二、二〇〇	N	〇、九	差引	
計		二、二〇〇	P	〇、九		
計		九、三〇〇	K			

麥 裸 一 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥						種 類	指 導	積 畝	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地	計	硫 酸 加 里	強 過 石	硫 安	木 灰	人 糞 尿				
1,100	2,000	15,216	4	10	3	10	200	400	二反三畝	八頭郡丹比村字南	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	地 一 步	擔 當 者	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			土 性
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	種 類	積 畝	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			數 量
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	金 額	所 在 地	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			N
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	P	中 林 常 藏	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			K
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	計	指 導	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			入
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	支	擔 當 者	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			計
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	出	積 畝	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			差 引
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	計	指 導	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			入
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	支	擔 當 者	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			計
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	出	積 畝	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			差 引
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	計	指 導	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			入
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	支	擔 當 者	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			計
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000	出	積 畝	
1,500	1,000	3,540					1,140	2,000			差 引

麥 裸 一 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥						種 類	指 導	積 畝	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地	計	木 灰	硫 酸 加 里	強 過 石	硫 安	下 肥				
1,530	2,750	16,390	3	4	10	3	400	350	二反五畝	鳥取市	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	地 〇 步	擔 當 者	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			土 性
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	種 類	積 畝	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			數 量
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	金 額	所 在 地	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			N
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	P	中 林 常 藏	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			K
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	計	指 導	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			入
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	支	擔 當 者	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			計
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	出	積 畝	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			差 引
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	計	指 導	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			入
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	支	擔 當 者	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			計
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750	出	積 畝	
1,530	2,750	4,430					2,280	1,750			差 引

英雲紫 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種類	種類		
七、五〇	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加	六反〇畝一步	八頭郡下私都村山田
(當反)較比收支		N			土性	擔當者
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
主產物		P			擔當者	奧田
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
副產物		K			土性	擔當者
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
計		計			土性	擔當者
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
肥料		肥料			土性	擔當者
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
其他		其他			土性	擔當者
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
計		計			土性	擔當者
八、〇三	九、六八	一、三〇〇	強過石	酸加		
差引		差引			土性	擔當者
七、七九	九、一四	一、一〇	強過石	酸加		

英雲紫 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	種類	種類		
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加	三反〇畝一六步	八頭郡丹比村字南
(當反)較比收支		N			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
主產物		P			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
副產物		K			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
計		計			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
肥料		肥料			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
其他		其他			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
計		計			土性	擔當者
六、五〇	七、〇〇	八、〇〇	強過石	酸加		
差引		差引			土性	擔當者
九、〇六	九、八〇	一〇、九〇	強過石	酸加		

麥 小 — 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥							面	所					
町村平均	隣接地	指導地	種目	計	硫酸加里	木灰	強過石	硫酸安渣	蠶屎	人糞	厩肥	種類	指	積	所在地
1,140	1,500	2,000		18,080	1,400	1,200	0,900	1,080	2,200	2,450	7,600	4,000		5反	氣高郡千代水村
(當反)較比支收				4,455				0,600	1,000	0,850	2,000	N		畝	
收		支		入		出		差引		行					
米		副產物		肥料		其他		計		N		P		K	
16,070	30,630	27,500	1,150	17,570	9,000	7,890	4,000	13,000	1,100	1,380	1,500	1,100	1,100	1,100	1,100
收		支		入		出		差引		行					
米		副產物		肥料		其他		計		N		P		K	
16,070	30,630	27,500	1,150	17,570	9,000	7,890	4,000	13,000	1,100	1,380	1,500	1,100	1,100	1,100	1,100

麥 裸 — 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥							面	所					
町村平均	隣接地	指導地	種目	計	硫酸加里	木灰	強過石	硫酸安渣	蠶屎	人糞	堆肥	種類	指	積	所在地
1,140	1,100	2,000		17,400	1,300	1,100	0,700	1,000	1,500	1,700	5,000	4,000		5反	氣高郡千代水村
(當反)較比支收				4,000				1,000	0,500	0,850	1,500	N		畝	
收		支		入		出		差引		行					
主產物		副產物		肥料		其他		計		N		P		K	
11,000	13,800	33,000	1,000	13,000	9,000	7,890	1,000	17,000	1,400	1,700	2,800	1,100	1,100	1,100	1,100
收		支		入		出		差引		行					
主產物		副產物		肥料		其他		計		N		P		K	
11,000	13,800	33,000	1,000	13,000	9,000	7,890	1,000	17,000	1,400	1,700	2,800	1,100	1,100	1,100	1,100

麥 裸 — 名 物 作

(當反)量收			(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	計	硫酸加里	木灰	強過石	硫酸安		
1,600	1,500	2,200	10,000	2,300	1,400	1,500	2,800	2,000	數量
									金額
			2,600				1,600	1,000	N
			3,180		0,700	1,900		0,500	P
			4,900	1,900	1,800			1,200	K
			計		過石	硫酸安	堆肥		種類
									數量
									金額
			7,700		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			2,600				0,500	0,500	P
			2,400						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N
			7,700				0,500	0,500	P
			10,000						K
			計						種類
									數量
									金額
			7,500		1,500	3,600	1,000	1,000	N

雜菜 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	指導地	種類	數量	金額		
1,000	2,500	堆肥	100	3,500	二反二畝	東伯郡上北條村小田
1,000	2,500	人糞	300	1,000		
1,000	2,500	硫酸安	150	5,000	一畝一五步	擔當者 山本金藏
1,000	2,500	配人糞	100	2,600		
(當反)較比支收		計			土性	堆質壤土
主產物收	副產物收	肥料支	其他支	計出		
2,000	1,000	1,000	1,000	2,000	差引	3,500
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		

英雪菜 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	指導地	種類	數量	金額		
3,500	4,000	強過石	150	1,500	一反七畝	氣高郡中郷村北河原
3,500	4,000	堆肥	100	1,000		
(當反)較比支收		計			土性	擔當者 小林甚平
主產物收	副產物收	肥料支	其他支	計出		
3,500	4,000	1,000	1,000	2,000	差引	3,500
3,500	4,000	1,000	1,000	1,000		

麥 裸 — 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥				面 積	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地	配 合	木 灰	人 糞 尿	堆 肥		
1,100	3,300	300	300	350	300	二反四畝一七步	東伯郡上北條村小田
1,400	3,300	840	316	514	356		
(當反)較收支		4,519	1,336	2,233	1,000	土 性	擔 當 者
主產物	副產物	2,954	1,197	0,570	0,500		
1,375	4,000	5,305	1,800	1,053	1,000	砂 質 壤 土	山 本 金 治
1,375	4,000	1,375	5,600	3,570	3,564		
(當反)較收支		3,119	0,433	1,710	1,000	土 性	擔 當 者
主產物	副產物	1,289	0,399	0,390	0,000		
1,375	3,038	3,119	0,399	0,810	1,000	面 積	所 在 地
1,375	3,038	2,560	1,153	0,810	1,000		
(當反)較收支		2,560	1,153	0,810	1,000	面 積	所 在 地
主產物	副產物	2,560	1,153	0,810	1,000		
1,100	3,300	300	300	350	300	二反四畝一七步	東伯郡上北條村小田
1,400	3,300	840	316	514	356		
(當反)較收支		4,519	1,336	2,233	1,000	土 性	擔 當 者
主產物	副產物	2,954	1,197	0,570	0,500		
1,375	4,000	5,305	1,800	1,053	1,000	砂 質 壤 土	山 本 金 治
1,375	4,000	1,375	5,600	3,570	3,564		
(當反)較收支		3,119	0,433	1,710	1,000	土 性	擔 當 者
主產物	副產物	1,289	0,399	0,390	0,000		
1,375	3,038	3,119	0,399	0,810	1,000	面 積	所 在 地
1,375	3,038	2,560	1,153	0,810	1,000		
(當反)較收支		2,560	1,153	0,810	1,000	面 積	所 在 地
主產物	副產物	2,560	1,153	0,810	1,000		

— 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥				面 積	所 在 地	
町 村 平 均	指 導 地	硫 酸 加 里	強 過 石	石 灰 窒 素	木 灰			人 糞 尿
1,500	3,300	400	100	600	300	300	二反四畝一七步	東伯郡上北條村小田
1,500	3,300	2,000	1,600	1,500	2,100	2,970		
(當反)較收支		4,135	1,700	1,100	1,400	1,500	土 性	擔 當 者
主產物	副產物	3,495	1,900	0,500	0,350	0,400		
1,375	4,000	5,595	1,900	1,100	0,675	1,000	砂 質 壤 土	山 本 金 藏
1,375	4,000	1,375	5,900	2,800	2,970	3,564		
(當反)較收支		2,837	1,330	0,433	0,325	0,500	土 性	擔 當 者
主產物	副產物	9,355	1,599	0,399	0,390	0,000		
1,375	3,038	2,837	1,330	0,433	0,325	0,500	面 積	所 在 地
1,375	3,038	2,560	1,153	0,810	0,810	1,000		
(當反)較收支		2,560	1,153	0,810	1,000	1,000	面 積	所 在 地
主產物	副產物	2,560	1,153	0,810	1,000	1,000		

麥大 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥						面	所在地											
町村平均	隣接地	指導地	種目	計	木灰	硫酸加里	強過石	石灰窒素	人糞尿	厩肥	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	主產物	14,680	300	400	100	300	100	400	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	副產物	3,810	0,780	1,900	1,000	0,130	1,000	2,400	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	計	18,490	3,780	5,900	2,030	1,130	2,000	4,800	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	肥料	16,680	3,000	6,400	3,000	1,130	3,000	7,900	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	其他	3,310	730	2,500	730	0,570	1,000	2,500	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	計	20,000	4,510	8,400	3,760	2,130	4,000	10,400	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,800	2,000	2,800	差引	1,510	730	2,500	730	0,570	1,000	2,500	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏

麥小 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥						面	所在地											
町村平均	隣接地	指導地	種目	計	木灰	硫酸加里	強過石	石灰窒素	人糞尿	厩肥	種類	數量	金額	N	P	K	土性	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	主產物	16,680	400	500	300	500	100	400	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	副產物	3,570	1,000	2,400	1,100	0,130	1,000	2,400	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	計	20,250	1,400	7,400	4,200	0,260	2,000	4,800	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	肥料	16,680	3,000	6,400	3,000	1,130	3,000	7,900	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	其他	3,310	730	2,500	730	0,570	1,000	2,500	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	計	20,000	4,510	8,400	3,760	2,130	4,000	10,400	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏
1,500	1,800	2,100	差引	1,510	730	2,500	730	0,570	1,000	2,500	種類	數量	金額	N	P	K	土性 <td>擔當者</td> <td>種田</td> <td>雅藏</td>	擔當者	種田	雅藏

麥 小 — 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地
町村平均	指導地	木灰	硫酸加里	磷酸アルミ	石灰窒素	蠶渣		
1,670	1,770	118	141	36	55	100	西伯郡車尾村車尾	
1,670	1,770	118	141	36	55	100		
(當反)較比支收		N					畝	二九步
20,040	22,240	3,353	4,741	1,500	1,000	1,953		
主產物		P					土性	擔當者
19,200	21,300	2,541	3,800	1,500	1,000	1,611		
副產物		K					砂質壤土	倉敷庄三郎
5,000	5,000	4,746	1,800	3,800	1,000	1,177		
入		種類					土性	擔當者
34,800	36,300	計	過木	硫酸	石灰	蠶渣		
支		數量金額					土性	擔當者
11,000	10,300	1	10	15	3	150		
其他		N					砂質壤土	倉敷庄三郎
1,000	1,000	10,300	1,500	0,750	1,140	500		
出		P					砂質壤土	倉敷庄三郎
11,000	10,300	4,740	1,500	0,600	1,100	2,900		
差引		K					砂質壤土	倉敷庄三郎
13,800	15,000	2,611	1,900	0,350	1,000	1,177		

英雲紫 — 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	指導地	強過石	種類	指		
7,000	8,000	105	7	1	西伯郡高麗村安原	
7,000	8,000	105	7	1		
(當反)較比支收		N			畝	〇步
8,050	9,300	1,110	1,000	1,000		
主產物		P			土性	擔當者
8,050	9,300	1,110	1,000	1,000		
副產物		K			土性	擔當者
10,350	10,350	1,110	1,000	1,000		
入		種類			土性	擔當者
8,050	9,300	計	強過石	種類		
支		數量金額			土性	擔當者
0,450	0,600	1	3	300		
其他		N			土性	擔當者
1,000	1,000	0,450	0,600	1,000		
出		P			土性	擔當者
0,450	0,600	0,450	0,600	0,570		
差引		K			土性	擔當者
7,600	8,700	0,600	0,600	1,000		

英雲紫一名物作

(當反)量收			(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	木灰	磷酸アルミ	種類		
九三〇	八五〇	九〇〇	三三	三三	數量	三反〇畝	西伯郡車尾村車尾
			一、二七五	〇、六〇〇	金額		
(當反)較比支收					N	一四步	擔當者
主產物			〇、六五〇	〇、九〇〇	P		
副產物			一、五〇〇	一、五〇〇	K	土性	倉敷庄三郎
一〇、〇〇	九、九〇	一〇、八〇			種類		
〇、六三〇	三、〇〇	三、五〇	過石		數量	壤土	倉敷庄三郎
一五、〇〇	一三、〇〇	一四、三〇			金額		
肥料其他			一、七五	一、三七	N	行	
計					P		
出					K	差引	
一、五五	一、三七	一、七五					
一三、四五	一〇、八〇	一二、五五					

麥小一名物作

(當反)量收			(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	隣接地	指導地	木灰	硫酸加里	種類		
一、六七〇	一、七三〇	一、八〇〇	三〇	四〇	數量	一反五畝一一步	西伯郡車尾村車尾
			一、四一	二、三五	金額		
(當反)較比支收					N	地	擔當者
主產物			三、五五五	〇、八五五	P		
副產物			三、一五五	〇、七五〇	K	土性	倉敷庄三郎
三〇、〇〇	三〇、六六	三三、〇〇	〇、七五	一、五〇〇	種類		
四、八〇	五、一〇	五、〇〇	過石灰		數量	砂質壤土	倉敷庄三郎
二四、八四	二五、六六	二七、六〇			金額		
肥料其他			一、〇〇	一、〇〇	N	行	
計					P		
出					K	差引	
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇					
一三、八四	一五、六一	一四、一〇					

麥小一名物作

(當反)量收		(當反)料肥						面積	所在地	
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素	木灰	厩肥			
								1,060	1,350	1,643
1,576	1,576	1,643	1,93	1,11	1,89	3,16	4,00			
(當反)較收支		3,800			0,600	1,100	1,000	N	地	擔當者
主產物		3,370		1,530		0,750	1,000	P		
副產物		6,130	1,930			1,800	2,500	K		
入		1,8,36							土性	石原宇一郎
肥料支		1,0,04		7	3	100	200			
其他		1,50		1,00	1,11	1,19	3,56		堆質壤土	
出		10,04			0,600	0,570	1,000	N		
差引		8,33		1,310		0,130	0,000	P		
		7,06					0,000	K		

麥小一名物作

(當反)量收		(當反)料肥						面積	所在地	
町村平均	指導地	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素	木灰	厩肥			
								1,060	1,350	1,643
1,576	1,576	1,643	1,93	1,11	1,89	3,16	4,00			
(當反)較收支		3,800			0,600	1,100	1,000	N	地	擔當者
主產物		3,370		1,530		0,750	1,000	P		
副產物		6,130	1,930			1,800	2,500	K		
入		1,8,36							土性	石原宇一郎
肥料支		1,0,04		7	3	100	200			
其他		1,50		1,00	1,11	1,19	3,56		堆質壤土	
出		10,04			0,600	0,570	1,000	N		
差引		8,33		1,310		0,130	0,000	P		
		7,06					0,000	K		

麥 裸 —— 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥					面 積	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地 地	計	強 過 石	人 糞 尿	木 灰	既 肥		
一、九〇〇	三、〇八〇	一、四、四〇	一、〇〇	三、〇〇	五、〇〇	三、〇〇	日野郡江尾村江尾	
二、五〇〇	三、〇八〇	一、四、四〇	一、〇〇	三、〇〇	五、〇〇	三、〇〇		
(當反)較比支收		三、三二〇	—	一、七〇	—	一、五〇〇	擔當者 福田岩雄	
主產物	副產物	四、三三〇	一、九〇〇	〇、三九〇	一、三〇〇	〇、七五〇		
二、一六〇	二、四六	五、六六〇	—	〇、八一〇	三、〇〇〇	一、八〇〇	土 性 腐 殖 質 壤 土	
三、七、九〇	二、四六	—	—	—	—	—		
計	計	計	計	計	計	計	入 出 差 引	
三、三、一七	三、七、一〇	八、九四	—	—	—	—		
七、四六	一、五、五〇	—	—	—	—	—	行	
—	—	—	—	—	—	—		
七、四六	一、六、〇四	三、三二〇	三、三二〇	一、七〇	一、七〇	〇、三九〇	三、三二〇	
一、五、七	三、〇、九六	—	—	—	—	—	—	

麥 小 —— 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥					面 積	所 在 地
町 村 平 均	指 導 地 地	計	過 大 豆 石	人 糞 尿	木 灰	既 肥		
二、〇〇〇	三、三〇〇	一、六、六〇	一、〇	四、〇〇	五、〇〇	三、〇〇	日野郡江尾村江尾	
二、七〇〇	三、三〇〇	一、六、六〇	一、〇	四、〇〇	五、〇〇	三、〇〇		
(當反)較比支收		二、四八	—	〇、三六	一、七〇	一、五〇〇	擔當者 福田岩雄	
主產物	副產物	四、五九六	一、九〇〇	〇、〇六	〇、三九〇	〇、七五〇		
三、八、五〇	四、八、五	五、六九〇	—	〇、〇〇	〇、八一〇	一、八〇〇	土 性 腐 殖 質 壤 土	
一、三、六	一、五、	—	—	—	—	—		
計	計	計	計	計	計	計	入 出 差 引	
二、九、六	四、〇、〇三	七、三三	—	—	—	—		
七、三三	一、〇、六一	—	—	—	—	—	行	
—	—	—	—	—	—	—		
七、三三	一、七、三六	二、九、五	二、九、五	一、三、三〇	一、三、三〇	〇、三、三〇	二、九、五	
三、三、四三	三、九、四三	—	—	—	—	—	—	

英雲紫 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	指導地	種類	數量	金額		
1,000	1,150	強過石	5	0,700	二反六畝八步	岩美郡本庄村高山
1,000	1,100	計		0,950		
(當反)較收支		地			土性	擔當者
主產物	副產物	N	P	K		
8,000	9,300	強過石	10	1,400	粘壇壤土	向山節義
8,000	9,600	計		1,900		
支		行			土性	擔當者
肥料	其他	N	P	K		
1,000	1,500	強過石	10	1,400	粘壇壤土	向山節義
1,000	1,500	計		1,900		
出		行			土性	擔當者
主產物	副產物	N	P	K		
1,500	2,500	強過石	10	1,400	粘壇壤土	向山節義
1,500	2,500	計		1,900		
差引		行			土性	擔當者
5,500	6,700	N	P	K		

麥大 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥			面積	所在地
町村平均	指導地	種類	數量	金額		
1,800	2,150	強過石	7	2,000	三反三畝五步	岩美郡本庄村高山
1,800	2,400	計		2,900		
(當反)較收支		地			土性	擔當者
主產物	副產物	N	P	K		
1,600	1,900	強過石	10	1,400	粘壇壤土	向山節義
1,600	2,300	計		2,900		
支		行			土性	擔當者
肥料	其他	N	P	K		
6,800	7,100	強過石	10	1,400	粘壇壤土	向山節義
6,800	7,100	計		1,900		
出		行			土性	擔當者
主產物	副產物	N	P	K		
10,600	13,600	強過石	10	1,400	粘壇壤土	向山節義
10,600	13,600	計		1,900		
差引		行			土性	擔當者
10,600	13,600	N	P	K		

麥ルービ — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥					面	所					
町村平均	隣接地	指導地	種目	計	硫酸加里	強過石	硫安	木灰	人糞尿	厩肥	種類	積	所在地
二,五〇〇	二,一〇〇	二,五〇〇	主產物	一五,八三三	三	七	三	三	二〇〇	四〇〇	數量	反	八頭郡散岐村佐貫
			副產物	一五,八三三	一七〇	〇,九一	一,〇五	二,六三	二,三八	七,一六	金額	七畝〇步	
(當反)較比支收		主產物		三,七四〇	—	—	〇,六〇〇	—	一,一四〇	二,〇〇〇	N		
三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	副產物	三,三三〇	—	一,三三〇	—	〇,六〇〇	〇,一六〇	一,〇〇〇	P		
一,一六	一,一六	一,一六	其他	五,八〇〇	一,四〇〇	—	—	一,五〇〇	〇,四〇〇	三,四〇〇	K		
三,一七	三,一七	三,一七	計入	計	木灰	強過石	硫安	人糞尿	厩肥	種類 <td>慣</td> <td>土性</td> <td>擔當者</td>	慣	土性	擔當者
一,一三	一,一三	一,一三	肥料	—	—	一〇	八	三	二〇〇	四〇〇	數量	安山岩堆土	黑田千代藏
—	—	—	其他	一三,三三〇	〇,七〇	—	—	一,〇五	二,三八	七,一六	金額		
—	—	—	計出	三,七四〇	—	—	〇,六〇〇	—	一,一四〇	二,〇〇〇	N		
—	—	—	差引	三,〇〇〇	〇,三六〇	—	—	—	〇,三六〇	一,〇〇〇	P		
—	—	—		三,五〇〇	〇,六〇〇	—	—	—	〇,四〇〇	二,〇〇〇	K		

英雲紫 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥					面	所
町村平均	隣接地	指導地	種目	計	強過石	種類	積	所在地
四〇〇	五〇〇	八〇〇	主產物	〇,元	三	數量	反	八頭郡散岐村佐貫
			副產物	〇,元	〇,五七〇	金額	七畝〇步	
(當反)較比支收		主產物		—	—	N		
四,元	五,元	八,元	副產物	〇,五七〇	—	P		
—	—	—	其他	—	—	K		
四,元	五,元	八,元	計入	計	強過石	種類 <td>土性</td> <td>擔當者</td>	土性	擔當者
〇,元	〇,元	〇,元	肥料	—	—	數量	安山岩堆土	黑田千代藏
—	—	—	其他	〇,元	〇,元	金額		
—	—	—	計出	—	—	N		
〇,元	〇,元	〇,元	差引	〇,五七〇	—	P		
三,八	四,九	八,一		—	—	K		

英雲紫 — 名物作

(當反)量收	(當反)料肥			面積	所在地
	種	強過石	種類		
町村平均	指導地	指導地	指導地	一反四畝	氣高郡正條村勝見
六〇〇	七五〇	九五〇	七		
(當反)較收支			數量	步	擔當者
			金額		
			N	土性	恩田精吉
			P		
			K	堆質壤土	
			計		
			過石	土性	擔當者
			種類		
			數量	堆質壤土	
			金額		
			N	堆質壤土	
			P		
			K	堆質壤土	
			計		
			差引	堆質壤土	

麥 裸 — 名物作

(當反)量收	(當反)料肥			面積	所在地
	種	強過石	種類		
町村平均	指導地	指導地	指導地	一反八畝	八頭郡散岐村佐貫
一七〇〇	一、九〇〇	二、四〇〇	三		
(當反)較收支			數量	步	擔當者
			金額		
			N	土性	黑田千代藏
			P		
			K	土性	安山岩堆土
			計		
			強過石	土性	擔當者
			種類		
			數量	土性	擔當者
			金額		
			N	土性	安山岩堆土
			P		
			K	土性	安山岩堆土
			計		
			差引	土性	安山岩堆土

麥 裸 一 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥					面	所					
町 村 平 均	隣 接 地 地	指 導 地 地	種 目	計	木 灰	硫 酸 加 里	強 過 石	人 糞 尿	既 肥	種 類	指 導 地	積	在 地
1,000	1,450	1,980	主產物	3,260	30	108	5	350	350	既肥	一	氣高郡正條村勝見	
			(當反)較比支收	3,260	0.90	1.08	0.85	2.97	6.36	N	二	畝	
1,000	1,450	1,980	副產物	4,850	0.50	1.00	0.95	0.35	0.85	P	步		
			入	1,380		配合五號		木灰	人糞尿	既肥	土	擔當者	
			支	4,600						數量	性	恩田精吉	
			其他							金額	植質壤土		
			計	4,600						N	行		
			出	4,600						P			
			差引	8,200						K			

麥 裸 一 名 物 作

(當反)量收		(當反)料肥					面	所					
町 村 平 均	隣 接 地 地	指 導 地 地	種 目	計	木 灰	硫 酸 加 里	強 過 石	人 糞 尿	既 肥	種 類	指 導 地	積	在 地
1,000	1,450	1,860	主產物	3,260	30	108	5	350	350	既肥	一	氣高郡正條村勝見	
			(當反)較比支收	3,260	0.90	1.08	0.85	2.97	6.36	N	二	畝	
1,000	1,450	1,860	副產物	4,950	0.50	1.00	0.95	0.35	0.85	P	步		
			入	1,380		配合五號		木灰	人糞尿	堆肥	土	擔當者	
			支	4,600						數量	性	恩田精吉	
			其他							金額	植質壤土		
			計	4,600						N	行		
			出	4,600						P			
			差引	8,200						K			

麥小 — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地		
町村平均	指導地	種目	計	硫酸加里	強過石	石灰窒素			木灰	人糞尿
							1,000	1,138		
										金額
			3,770			1,100		0,570	2,000	N
			3,290		1,900		1,26	0,130	1,000	P
			5,190	1,930			0,600	0,270	2,400	K
							8	人糞尿		種類
							9	五		數量
										金額
			11,550				3,300	1,190	7,160	N
			3,770				0,800	0,570	2,000	P
			11,010				0,900	0,130	1,000	K
										差引
			3,170							

麥ルーピ — 名物作

(當反)量收		(當反)料肥					面積	所在地		
町村平均	指導地	種目	計	硫加	強過石	木灰			人糞尿	既肥
							1,560	1,650		
										金額
			3,710				1,710	2,000		N
			4,710			2,280	1,040	0,390	1,000	P
			8,010	2,400			2,400	0,810	2,400	K
							配堆	人糞尿		種類
							合土	肥		數量
							10	400	350	金額
			19,050				3,250	4,260	7,160	N
			4,575				0,560	1,995	2,000	P
			23,995				0,540	1,000	1,000	K
										差引
			4,345							

終

